

沼津市 福祉施設防災・ 災害状況マップ

— 福祉避難所の案内 —



沼津市福祉施設連絡協議会

「沼津市福祉施設防災・災害状況マップ」作成にあたり

平成 27 年 11 月 1 日

沼津市福祉施設連絡協議会

会長 石川 三義

沼津市福祉施設連絡協議会は沼津市内の社会福祉法人、医療法人、NPO 法人が主に運営しています社会福祉事業所（児童養護施設、障害児者福祉施設・事業所、高齢者福祉施設・事業所）などの43事業所が加入している福祉団体であります。県内でも、このように市全体をカバーする福祉連絡協議会があるのは大変珍しいことです。

当協議会の活動は、会員相互の情報交換や研修活動などを通じて、沼津市内の社会福祉施設の充実発展を推進し、地域住民と相互理解の下、地域社会の福祉向上と発展を図ることを目的にしています。会の中には、研修担当部門、沼津市福祉ふれあい広場担当部門、防災担当部門の三部門があり、具体的な活動としては、年一回の総会と施設長研修会、若手の指導員・介護職員など職員対象の一泊交流研修会、福祉施設見学会、イトーヨーカドーでの福祉ふれあい広場の開催などでありました。

いま、南海トラフを震源とした巨大地震や富士山噴火や台風などの多種類の自然災害が予測されていますが、このような状況の中で、当協議会の防災担当部門が中心となり、先の東日本の大震災の経験を踏まえて、施設の防災機能の相互理解や災害時の施設間の相互援助意識の強化を図り、地域住民の福祉避難所として役立てるために、「沼津市福祉施設防災・災害状況マップ」を作成いたしました。

この防災マップには、沼津市内の福祉施設の場所、施設の事業内容、職員数、災害時の受け入れ可能人数、防災備蓄品の状況、ストレッチャー・車いす対応の特殊車両の台数などが詳細に記載されております。災害時に福祉関係者はもとより防災の行政関係者に対して、また一般市民に市内の福祉施設の場所や福祉避難所の機能を理解していただくためにも、有効に役にたつものと考えています。

なお、このマップを作成するに当たり静岡県社会福祉協議会から「社会福祉事業振興のための補助金」と沼津市社会福祉協議会から赤い羽根共同募金の援助を受けましたことに、厚く感謝申し上げます。



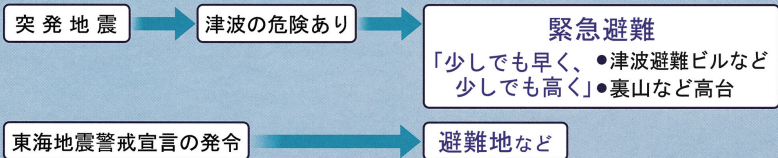
凡例	
	第4次地震被害想定推定津波浸水域の境界※1
	津波避難訓練対象区域の境界※2
	施設名 避難地・避難所
	施設名 避難地
	施設名 避難所
	4.3m 推定津波高(第4次地震被害想定)
	海岸堤防
	17.0 海岸堤防・河川堤防高(m)
	4.0 海拔(m)
	0.5km 海岸との距離

凡例	
	想定される地震の震度 震度5弱
	震度5強
	震度6弱
	震度6強

※1、※2は裏面参照



津波からの避難手順



- ① 避難地** 津波危険地域や山・崖崩れ危険地域の方が、警戒宣言発令時に、自分の身を守るためにあらかじめ避難を行うための場所で、グラウンドなど屋外の広い場所を指定しています。避難地には防災倉庫があり、市の職員が配置されます。なお、地震発生までに時間的余裕がある場合には、津波からの避難のため、さらに沿岸から離れた避難地等へ逃げるのが重要となります。突発地震にともなう津波からの緊急避難は、津波避難ビルや津波避難路等を利用して「少しでも早く、少しでも高いところ」へ逃げて下さい。
- ② 避難所** 地震や津波などの災害発生後、自宅が被災し生活することができない人が避難生活をする場所で、主に学校等の公共施設になり、基本的に避難地と一体となります。運営は自主防災組織が中心となり、生活の場を提供するほか、給食、給水、情報の提供などの機能があります。

* 沼津市のハザードマップを基に 沼津市福祉施設連絡協議会が独自に作成

● このマップは、静岡県第4次地震被害想定における最大の震度分布(250mメッシュ)を基にしています。裏面には「液状化」に関する情報を掲載しています。
 ■ 最新の情報は市ホームページ <http://www.city.numazu.shizuoka.jp/>「危機管理情報」を参照下さい。



保存版
 県第4次地震被害想定
液状化
 ハザードマップ
 沼津市

全市版

- 凡例
- ※1 第4次地震被害想定推定津波浸水域の境界
 - ※2 津波避難訓練対象区域の境界

- 凡例
- 陸域での液状化危険度
- 大 (Red)
 - 中 (Yellow)
 - 小 (Green)
- ※色が付いていない場所は、液状化の危険度が「ない」及び「対象外」
 ※陸域にかかるメッシュが小さい場合、海域も含めたメッシュを表示しています。

地盤の液状化現象に対する留意点

この地図は、静岡県第4次地震被害想定における液状化危険度を示しています。「液状化」とは、地震により地盤が一時的に液体になる現象のことです。海岸の埋立地や河川沿いなど、砂質地盤に加え、地下水位の高い場所で発生しやすく、地中からの泥水の噴出や地盤の沈下によって建物が傾いたり、転倒する恐れがあります。液状化現象は、隣接する土地でも地震の規模や揺れ方などにより被害の現れ方が異なるため、この地図では危険度を「大」「中」「小」で表記しています。現在お住まいの土地の地盤を、より詳しく知るためには、「静岡県統合基盤地理情報システム(GIS)」(<http://www.gis.pref.shizuoka.jp>)などを参考に、ご自身で確認していただく必要があります。また、新たに建物を建築する前には地質調査等を十分に行ってください。



ハザードマップの表示区域について

- ※1 第4次地震被害想定推定津波浸水域
 静岡県が南海トラフ沿いで発生する地震に備え策定した第4次地震被害想定で、津波が浸水すると推定される最大の区域。
- ※2 津波避難訓練対象区域
 東日本大震災後の平成23年度に、沼津市でこれまで最も大きな被害を受けた安政東海地震(1854年)の津波浸水域を含む単位自治会の区域を「津波避難訓練対象区域」と定め、津波対策や津波避難訓練に取り組みます。

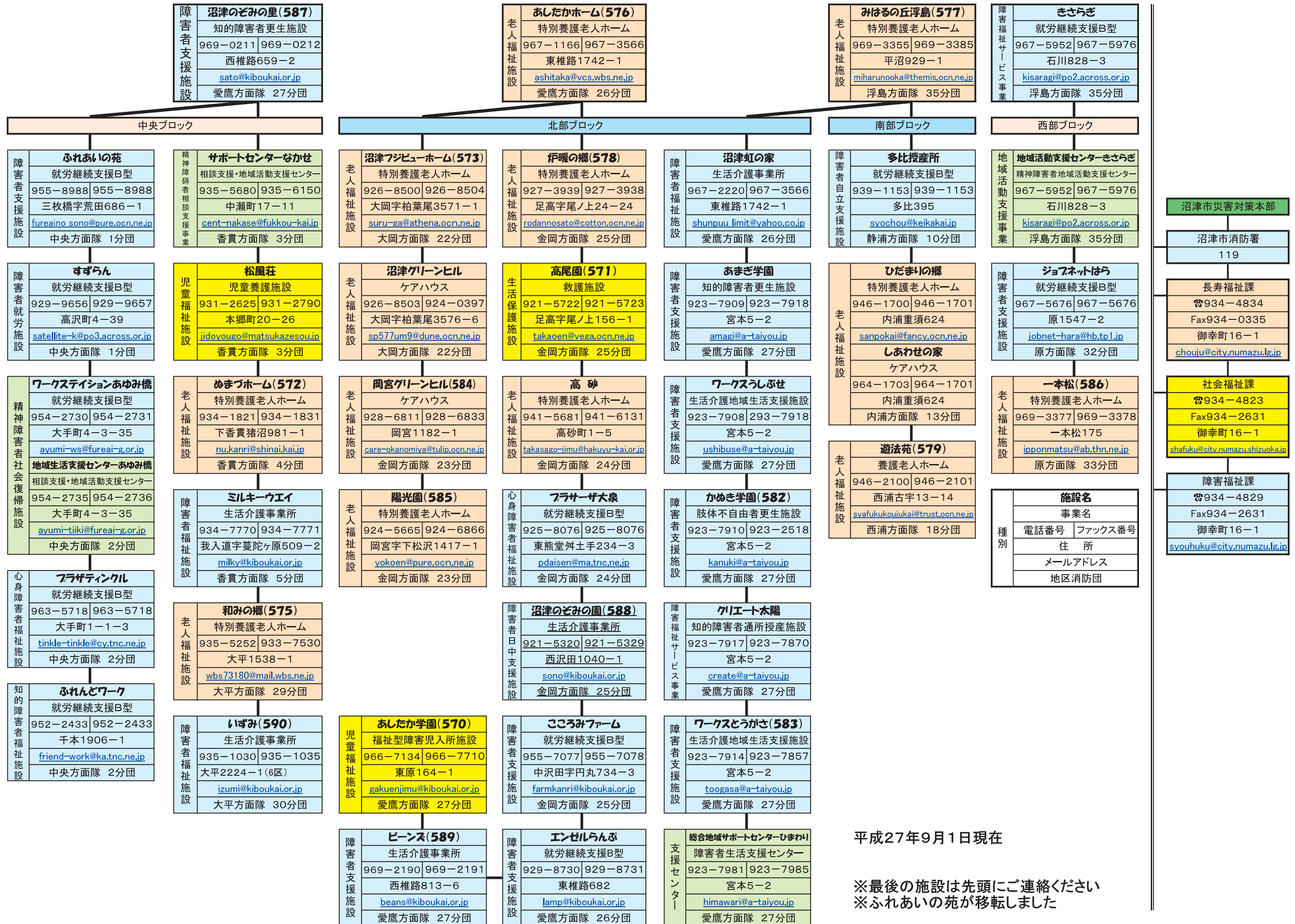
津波避難訓練対象区域の自治会

連合自治会	「津波避難訓練対象区域」の自治会
第二地区北	本町一丁目、本町二丁目
第二地区	下河原西町、下河原南部、下河原東部、千本常盤町、旭町、千本緑町、宮町、幸町、港湾区、下河原団地
千本地区	市道町、松下町、東間門、西浜町
第三地区下香貫[一部]	西村町、宮本町、神明町、馬場町、第二宮脇、石原、楊原、塩満、西木の宮、東桃郷、二瀬川町、藤井原
第三地区中	塩場、島郷、牛臥、八間町、東八間町、西島町、三貫地
第三地区東入道	江川町、東町、一本松町、津島町、浜町、林町、稻荷町、秋葉町、南条寺町
第四地区東[一部]	住吉町、南本郷町西、玉江町
第四地区西	御幸町、三園町、市場町、通吉田町、吉田町、永代川瀬町、横島北町
静浦地区	志下、馬込、獅子浜、江浦、多比、口野
内浦地区	重寺、小海、三津、長浜、重須
西浦地区[一部]	木負、久連、平沢、立保、古宇、足保、久料、江梨
戸田地区[一部]	鬼川、小中島、大中島、一色、入浜、口南、奥南、大浦、御浜、小山田、井田

※沼津市のハザードマップを基に
 沼津市福祉施設連絡協議会が独自に作成

このマップは、静岡県第4次地震被害想定における液状化可能性分布(250mメッシュ)を基にしています。表面には「地震・津波」に関する情報を掲載しています。
 最新の情報は市ホームページ <http://www.city.numazu.shizuoka.jp/> 「危機管理情報」を参照下さい。
 また、ハザードマップについてのお問い合わせは、「沼津市危機管理課 055-934-4803」までお願いします。 平成26年3月発行 90,000部

No.	種別	施設の種類	名称
1	児童福祉施設	福祉型障害児入所施設	沼津市立あしたか学園
2	児童福祉施設	児童養護施設	松風荘
3	生活保護施設	救護施設	沼津市立高尾園
4	老人福祉施設	養護老人ホーム	遊法苑
5	老人福祉施設	特別養護老人ホーム	あしたかホーム
6	老人福祉施設	特別養護老人ホーム	炉暖の郷
7	老人福祉施設	特別養護老人ホーム	ぬまづホーム
8	老人福祉施設	特別養護老人ホーム	和みの郷
9	老人福祉施設	ケアハウス	しあわせの家
10	老人福祉施設	特別養護老人ホーム・ケアハウス	ひだまりの郷
11	老人福祉施設	特別養護老人ホーム	沼津フジビューホーム
12	老人福祉施設	特別養護老人ホーム	みはるの丘浮島
13	老人福祉施設	軽費老人ホーム	沼津グリーンヒル
14	老人福祉施設	軽費老人ホーム	岡宮グリーンヒル
15	老人福祉施設	特別養護老人ホーム	陽光園
16	老人福祉施設	特別養護老人ホーム	一本松
17	老人福祉施設	特別養護老人ホーム	高砂
18	障害者支援施設	生活介護	かぬき学園
19	障害者支援施設	生活介護・施設入所支援	ワークスとおがさ
20	支援センター	相談支援事業	総合地域サポートセンターひまわり
21	障害者支援施設	施設入所支援・自立訓練 就労継続支援B型	あまぎ学園
22	障害者支援施設	施設入所支援・就労移行支援 就労継続支援B型	ワークスうしぶせ
23	障害者支援施設	生活介護・施設入所支援	沼津のぞみの里
24	障害者日中支援施設	生活介護事業所	沼津のぞみの園
25	障害者支援施設	生活介護事業所	ビーンズ
26	障害者支援施設	就労継続支援B型・生活介護	エンゼルらんぷ
27	障害者福祉施設	生活介護事業所	いずみ
28	障害者福祉施設	生活介護事業所	ミルキーウェイ
29	障害者支援施設	就労継続支援B型	こころみファーム
30	知的障害者福祉施設	生活介護事業所	沼津虹の家
31	障害福祉サービス事業	就労継続支援B型・生活介護	クリエート太陽
32	障害者支援施設	就労継続支援B型	ふれあいの苑
33	知的障害者福祉施設	就労継続支援B型	ふれんどワーク
34	障害者自立支援施設	就労継続支援B型	多比授産所 多比工房
35	心身障害者福祉施設	就労継続支援B型	ブラサーザ大泉
36	障害者支援施設	就労継続支援B型・就労移行支援	ジョブネットはら
37	心身障害者福祉施設	就労継続支援B型・就労移行支援	プラザティンクル
38	障害福祉サービス事業	就労継続支援B型・就労移行支援	きさらぎ
39	障害者就労施設	就労継続支援B型	すずらん
40	地域活動支援事業	地域活動支援センター	地域活動支援センターきさらぎ
41	障害者相談支援事業・地域活動支援センター	地域活動支援センター・障害者相談支援事業	サポートセンターなかせ
42	精神障害者社会復帰施設	就労継続支援B型	ワークステーションあゆみ橋
43	精神障害者社会復帰施設	相談支援・地域活動支援センター事業	地域生活支援センター あゆみ橋



平成27年9月1日現在

※最後の施設は先頭にご連絡ください
※ふれあいの苑が移転しました

地震・津波・洪水の影響一覧表

名称	施設海抜 m	津波の影響	河川の増水	土砂災害	津波避難訓練対象	津波浸水層時間	液状化の状況
1 沼津市立あしたか学園	4.2	無	河川0.5	無	外側	無	中
2 松風荘	5.6	無	無	無	内側	無	中
3 沼津市立高尾園	40.9	無	無	無	外側	無	無
4 遊法苑	20	有	津波1~2	特別警戒区域	内側	無	無
5 あしたかホーム	23	無	無	無	外側	無	無
6 炉暖の郷	109	無	無	無	外側	無	無
7 ぬまづホーム	20	無	無	特別警戒区域	外側	無	無
8 和みの郷	8.1	無	河川2~5	無	外側	無	中
9 しあわせの家	18	有	無	警戒区域	内側	無	無
10 ひだまりの郷	18	有	無	警戒区域	内側	無	無
11 沼津フジビューホーム	50	無	無	無	外側	無	無
12 みはるの丘浮島	25	無	河川1~2	無	外側	無	無
13 沼津グリーンヒル	49.7	無	無	無	外側	無	無
14 岡宮グリーンヒル	49.5	無	無	無	外側	無	無
15 陽光園	49.5	無	無	無	外側	無	無
16 一本松	10.4	有	無	無	外側	無	小
17 高砂	53	無	無	無	外側	無	無
18 かぬき学園	120	無	無	無	外側	無	無
19 ワークスとおがさ	120	無	無	無	外側	無	無
20 総合地域サポートセンターひまわり	120	無	無	無	外側	無	無
21 あまぎ学園	49.5	無	無	無	外側	無	無
22 ワークスうしびせ	120	無	無	無	外側	無	無
23 沼津のぞみの里	18	無	無	無	外側	無	無
24 沼津のぞみの園	40.9	無	無	無	外側	無	無
25 ビーンズ	18	無	無	無	外側	無	無
26 エンゼルらんび	7.7	無	無	無	外側	無	中
27 いずみ	8.8	無	河川2~5	無	外側	無	中
28 ミルキーウェイ	2.5	有	無	無	内側	15分	中
29 こころみファーム	25.2	無	無	無	外側	無	無
30 沼津虹の家	23	無	無	無	外側	無	無
31 クリエイト太陽	120	無	無	無	外側	無	無
32 ふれあいの苑	14.6	無	無	無	外側	無	無
33 ふれんどワーク	3	有	津波1~2	無	内側	20分	大
34 多比授産所 多比工房	1.9	有	津波4~9	警戒区域	内側	15分	無
35 プラサザ大泉	46.3	無	無	無	外側	無	無
36 ジョブネットはら	3.5	無	河川0.5~1	無	外側	無	小
37 プラザティンクル	8.3	無	無	無	外側	無	無
38 きさらぎ	25	無	河川1~2	無	外側	無	無
39 すずらん	23	無	河川1~2	無	外側	無	無
40 地域活動支援センターきさらぎ	23	無	無	無	外側	無	無
41 サポートセンターなかせ	8	有	河川0.5未満	無	外側	無	中
42 ワークステーションあゆみ橋	4.3	有	津波1~2	無	外側	無	無
43 地域生活支援センター あゆみ橋	4.3	有	津波1~2	無	外側	無	無

3 10 13 5 7 3 10

沼津市洪水ハザードマップ・県第4次地震被害想定沼津市地震津波ハザードマップより

【液状化の影響】施設周辺も含む

【津波の影響】交通アクセスも含む

1 あしたか学園

(福祉避難所指定 570)



【交通アクセス】 JR片浜駅より富士急行ミューバス 片浜循環線 あしたか学園バス停 徒歩2分

【施設概要】 障害児入所施設（福祉型）

昭和40年に開設された「あしたか学園」ですが、平成5年に現在の東原の地に移転しました。

平成20年に輝望会が沼津市の指定管理者となり、運営をスタートしました。のどかな愛鷹園地帯に囲まれ、50人の子ども達は、今沢小学校、今沢中学校、沼津特別支援学校に元気に通学しています。住所は愛鷹地区ですが、学校は今沢地区等と2つの地区に支えられているので、大変心強く思います。

【災害時の対応・訓練状況等】

27年度防災年間計画(避難訓練) ・4月火災避難訓練 ・5月夜間地震避難訓練 ・6月不審者対応避難訓練 ・7月夜間地震避難訓練 ・8月 避難訓練、炊き出し ・9月テント張り体験(児童含め) ・10月津波避難訓練 ・11月消防職員による火災避難訓練 ・12月夜間地震避難訓練 ・1月下校後避難訓練・2月火災通報避難訓練・3月火災避難訓練

防災訓練は、毎月計画的に実施しています。突発性の地震については、まだまだ対応が難しいと感じ、避難訓練の形を、より実際の状況に近づけて行なえないものかと考え、計画を立てています。電話、メールが使用出来ない状況では、災害用伝言ダイヤルを使用する予定ですが、保護者への連絡という点では、不安が残ります。東海地震の予知情報(警戒宣言)発表時は全職員施設に向かう事としています。

住 所	沼津市東原164-1	メ ー ル	gakuenjimu@kiboukai.or.jp
電 話	966-7134	防災無線	570
F A X	966-7710	消 防 団	愛鷹方面隊 27分団
運営主体	(福)輝望会	消 防 署	西分署 924-0119
事業内容	障害児入所施設(入所児47名)、短期入所事業(宿泊)、地域生活支援事業(日中預かり)		
職種内容	保育士、管理栄養士、調理員、事務員、看護師、児童指導員(職員合計35名)		
災害時受入れ状況	避難者の受け入れについては、30人ほど可能と想定ですが、備蓄があまり無いので、短い間でのみの対応となります。付近の避難所との連携が必要。		
備 蓄 品 80人分	飲み水(2ℓ×300本)、パックのお米類(400食)、他レトルト食品、缶詰、乾パン、汁物等。小型発電機1台。		
車両関係	特殊車両→ 普通車両→普通自動車5台		

沼 津 市 ハザード マ ッ プ	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海拔	液状化危険度
	6弱	今沢小学校	4.3m	17m	4.2m	中
	河川の増水	土砂災害の状況	津波避難訓練	津波浸水層 30cm時間		
	浸水深0.5未満区域	無	外側	無		

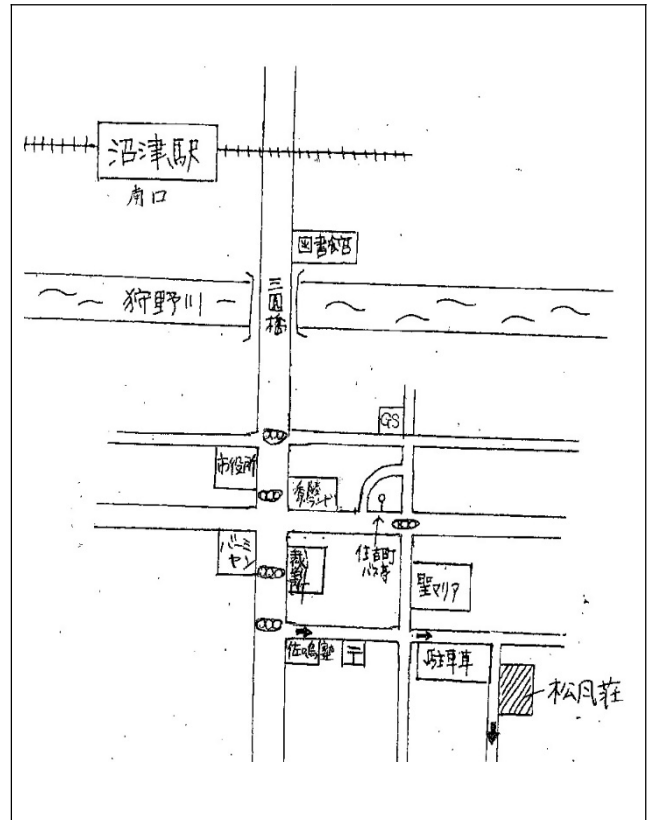
【海岸・河川堤防高】片浜海岸を想定

【河川の増水】大雨の場合、国1バイパスと根方街道の間の道路は、水没して通行できなくなる道が多くある。

沼 津 市 地 震 津 波 対 策	救護所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
	愛鷹地区センター 966-5301	沼津市立病院 924-5100	沼津西病院 966-1181	沼津市立病院 924-5100	今沢小学校 966-5522

2 松風荘

(福祉避難所指定 無)



【交通アクセス】 JR沼津駅南口下車 東海バス4番線 外原温水プール行き 住吉町下車徒歩3分

【施設概要】 児童養護施設

児童福祉に基づく児童養護施設として、東京都の各児童相談所より措置された、2歳から18歳までの保護の必要な児童を受け入れ、養護しています。

沼津市東部の香貫山のふもとにあり、近くには狩野川・霊山時・市役所・市民文化センターが点在しています。天気の良い日には、愛鷹山の後ろに雄大な富士山が顔をのぞかせてくれます。

防災ヘリポート（沼津市立第四中学校）避難場所（沼津市立第四小学校）は、1km以内にあります。幼稚園・小学校・中学校に就学し、高校生も近くの高等学校に通学しています。児童の発達に応じた必要な生活・学習・進路等の支援をし、家庭関係の調整をはかる中で、心身ともに健全な児童として自立が出来るよう支援しています。

【災害時の対応・訓練状況等】

防災訓練は毎月計画的に実施、児童の避難訓練、消火訓練を行っています。職員の情報伝達訓練、炊き出し訓練を実施しています。地域の防災訓練にも積極的に参加しています。

突発性の地震等については避難が難しいと感じています。想定外の津波・地震が起きた場合に、児童が訓練したことを教訓に安全な場所に避難しているか、避難場所に来てくれるのか、情報伝達に不安が解消されません。

地震注意情報の発表があった場合、施設に全職員に向かうこととしています。

住 所	沼津市本郷町20-26	メ ー ル	jidouyouto@matsukazesou.jp
電 話	931-2625	防災無線	無
F A X	931-2790	消 防 団	香貫方面隊 3分団
運営主体	(福)共生会	消 防 署	南消防署 934-0119
事業内容	児童養護施設(全児童数30人) 本園(児童数18人) 第一分園(児童数6人)・第二分園(児童数6人)		
職種内容	保育士・指導員・家庭支援専門相談員・自立支援コーディネーター・臨床心理士・心理士・ 非常勤小児科医・管理栄養士・調理員・事務員 (職員合計36人)		
災害時受 入れ状況	避難者の受け入れについては、第二分園には10名程可能かと思われませんが、それに伴う 職員配置については課題があります。		
備 蓄 品 50人分	飲料水(1日1人1日分)・缶詰め・アルファ米・乾パン・餅(50人分が7日分) 小型発電機1台・簡易トイレ1台		
車両関係	特殊車両⇒無 普通車両⇒普通自動車3台		

沼 津 市 ハザード マ ッ プ	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海拔	液状化危険度
	6弱	第四小学校	6.1m	8.2m	5.6m	中
	河川の増水	土砂災害の状況		津波避難訓練	津波浸水層 30cm時間	
	無	無		内側	無	

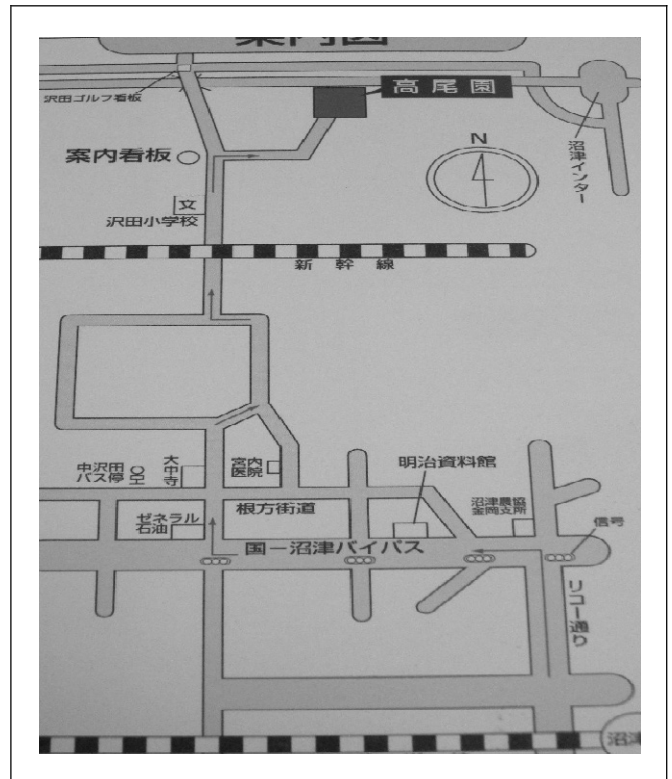
【海岸・河川堤防高】狩野川港大橋付近

【推定津波高】狩野川河口付近

沼 津 市	救護所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
地 震 津 波 対 策	市民文化センター 932-6111	聖隷沼津病院 952-1000	香貫医院 931-2465	沼津市立病院 924-5100	第四中学校 931-1554

3 沼津市立高尾園

(福祉避難所指定 571)



【交通アクセス】 JR沼津駅 富士急行根方線 中沢田バス停 (徒歩 30 分)

【施設概要】 救護施設

昭和35年に生活保護法に基づき沼津救護所として事業開始。昭和56年に現在地に移転し沼津市立高尾園として事業開始。平成14年4月1日より社会福祉法人春風会が事業運営受託。

自然豊かな愛鷹山麓の東側に位置し、身体上又は精神上に著しい障害があり自立して日常生活を営むことが困難な方々の身辺自立及び、社会復帰を支援する施設です。

地域住民や小学校と以前より結びつきが強く、多くのボランティアの方々の来園があります。その他年間を通して交流行事が多く行われております。

近年では私たちにできる範囲で、内職や地域貢献活動にも取り組んでいます。

【災害時の対応・訓練状況等】

防災訓練は毎月計画的に実施している。毎年総合防災訓練時には、入所者の避難訓練以外に、消火訓練、情報伝達訓練、炊き出し訓練を実施しています。又、福祉施設防災訓練時に総合防災訓練を実施しています。防災意識の高い利用者も多く、訓練の際には積極的に取り組む姿が見られます。

訓練後は振り返りを行い反省や改善策を出し、緊張感のある訓練が行えるように取り組んでいます。

夜間帯の緊急時等などにも不安が残りますが、大規模地震では3段階の非常配備態勢を敷き、迅速に職員の招集を図れるように取り組んでいます。

住 所	沼津市足高字尾ノ上 156-1	メ ー ル	takaoen@vega.ocn.ne.jp
電 話	921-5722	防災無線	571
F A X	921-5723	消 防 団	金岡方面隊 25分団
運営主体	(福)春風会	消 防 署	北消防署 923-0119
事業内容	生活保護施設 救護施設 (入所者 80 名)		
職種内容	看護師・介護士・精神保健福祉士・管理栄養士・調理員・事務員 (職員合計 33人)		
災害時受入れ状況	受け入れ可能床面積では、19人が受け入れ可能であるが介護担当職員での受け入れ可能人数は16人である。		
備蓄品 100人分	飲み水(1日1人2ℓ×7日分を100人分)非常食(1日3食×6日分) 米常備80kg 自家発電連続運転時間4時間 小型発電機1台		
車両関係	特殊車両⇒車椅子対応1台 普通車両⇒普通自動車4台 軽自動車2台 軽トラック1台		

沼津市 ハザード マップ	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海拔	液状化危険度
	6弱	沢田小	5m	10.8m	40.9m	無
	河川の増水	土砂災害の状況		津波避難訓練	津波浸水層 30 cm時間	
	無	無		外側	無	

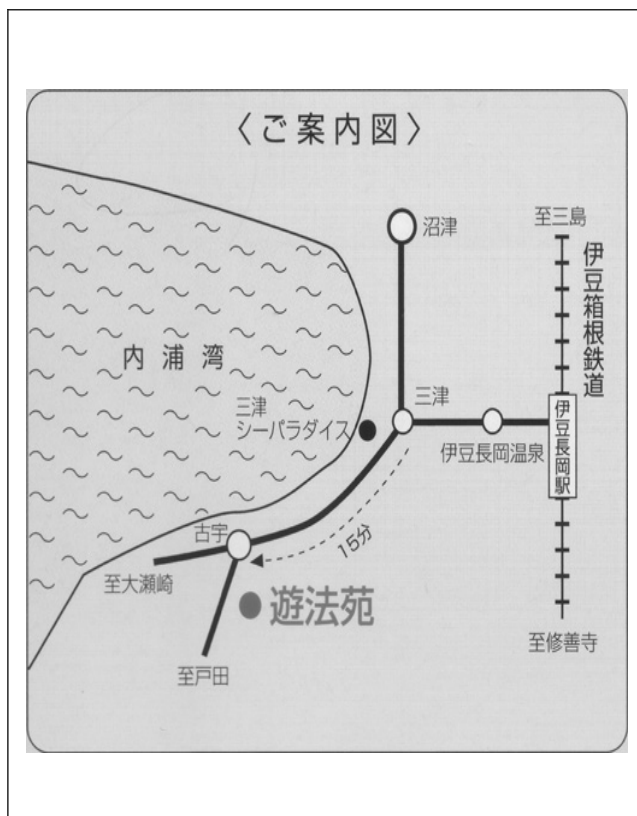
【推定津波高】千本浜海岸

【海岸・河川堤防高】千本浜海岸 愛鷹山麓にあるので津波等は影響なし

沼津市 地震津 波対策	救護所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
	金岡地区センター 942-5070	沼津市立病院 924-5100	沼津整形外科 921-3791	沼津市立病院 924-5100	沢田小学校 924-0161

4 遊法苑

(福祉避難所指定 579)



【交通アクセス】 JR沼津駅より沼津登山東海バス 西浦線 東古宇バス停 徒歩5分

【施設概要】 養護老人ホーム

古宇養護老人ホーム遊法苑は、平成15年12月に創設され、JR沼津駅から南西部に位置する西浦地区に施設はあります。駿河湾越しには富士山を望むことができ、自然環境に恵まれた富士箱根伊豆国立公園の中に位置しています。海拔20メートルにあり、津波避難ビルに指定されています。

業務内容は、養護老人ホームの経営を中心に介護が必要な入居者に対する訪問介護サービスも実施しています。

【災害時の対応・訓練状況等】

防災訓練は、年間計画に沿って毎月訓練を実施しています。当施設が地区の津波避難ビルに指定されていることから、地域の方との合同訓練を実施しています。

夜勤者のみの場合や土日などの職員が確保できない場合の対応などに課題があります。地震発生時は、建物が耐震構造であるため原則利用者の方は、居室にて待機し、職員が安否確認を行います。

西浦地区は、津波が想定されている地域であり、特に施設の建つ古宇地区は、ハザードマップでは西浦地区で最大の津波高8.6mが想定されております。また、県道17号（沼津土肥線）は、津波や落石等で通行が困難になる可能性もあり、災害時の職員の確保も大きな課題となります。

住 所	沼津市西浦古宇 13-14	メ ー ル	syafukukoujukai@trust.ocn.ne.jp
電 話	946-2100	防災無線	579
F A X	946-2101	消 防 団	西浦方面隊 18分団
運営主体	(福)宏寿会	消 防 署	西浦分遣所 932-8119
事業内容	老人福祉施設(養護老人ホーム) 定員 100名 訪問介護事業所		
職種内容	相談員、支援員、訪問介護員、管理栄養士、調理員、事務員 (非常勤を含め 職員合計 40名)		
災害時受 入れ状況	避難者の受入れは、集会室等の利用で30名程度が可能と思われませんが、地理的な面から も移動手段の確保が難しいと思われます。		
備 蓄 品	飲料水(ポリタンク 940ℓ、貯水槽 25,000ℓ)、乾パン400食、レトルト食品 200 食、缶詰 600食、米常時100kg、自家発電機		
車両関係	特殊車両⇒ 車椅子対応車両3台(内 1台 マイクロバス) 普通車両⇒ 普通自動車3台		

沼 津 市 ハザード マ ッ プ	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海拔	液状化危険度
	6弱	(福)宏寿会	7.3m	0m	20m	無
	河川の増水		土砂災害の状況	津波避難訓練	津波浸水層 30cm時間	
	浸水深 1~2m区域		特別警戒区域	内側	無	

【推定津波高】久連地区海岸

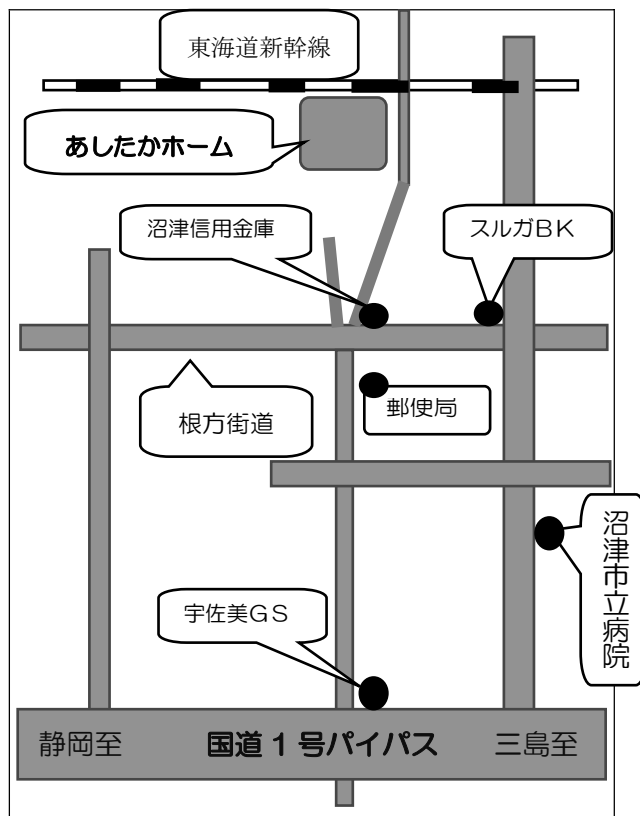
【海岸・河川堤防高】久連地区海岸

【河川の増水】海岸通り(県道17号)が海拔ゼロメートルのため通行止めになる可能性あり
施設は問題なしと思われる

沼 津 市	救護所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
地 震 津 波 対 策	西浦地区センター 942-2700	沼津リハビリ 931-1911	勝呂医院 962-3083	沼津市立病院 924-5100	西浦小学校 942-2004

5 あしたかホーム

(福祉避難所指定 576)



【交通アクセス】沼津駅より富士急バス2番線「あしたか団地入口」下車徒歩3分
JR片浜駅より片浜循環ミュースバス「あしたか団地入口」下車徒歩3分

【施設概要】 特別養護老人ホーム

駿河湾を望む愛鷹山系の中腹に位置し、四季を通じて温暖な気候に恵まれ、今年で開設39年目を迎えます。平成23年には新しい施設となり、開所当初から在宅福祉を重視するノーマライゼーションの実現を目指し、地域総合ケアセンターとして、あしたか地域包括支援センターをはじめ高齢者福祉と障害者日常生活介護事業所沼津虹の家が一体となり、高齢者・障害のある人の希望に沿ったサービス提供を心がけています。

防災ヘリポート（愛鷹小学校・中学校）、避難所（愛鷹中学校）、広域避難地（西部市民運動場）となっています。また、近隣には、救護病院で防災ヘリポートのある沼津市立病院があります。

【災害時の対応・訓練状況等】

防災訓練は年間計画に基づき毎月実施しています。情報伝達訓練、消防署への通報訓練、避難誘導訓練、消火訓練を実施し、総合防災訓練として年3回実施し、その内2回消防署立会の訓練を実施しています。地域との防災連携として、自治会の防災訓練への協力・参加をしていますが、実際の災害時の協力体制や、大規模災害時の場合の事業継続や早期復旧を可能とする方法・手段においても不安があります。

震度5以上の地震等の災害が予知された際、及び災害後は、自宅等の安全確認・調整等をおこない、第一次配備職員が直ちに施設に向かうこととしています

住 所	沼津市東椎路1742-1	メ ー ル	ashitaka@mail.wbs.ne.jp
電 話	967-1166	防災無線	576
F A X	967-3566	消 防 団	愛鷹方面隊 26分団
運営主体	(福)春風会	消 防 署	西分署 924-0119
事業内容	介護老人福祉施設(入居者100人)・短期通所生活介護(ショートステイ)24人 一般型通所介護40人・認知症対応型通所介護12人・訪問介護(高齢者・障害者) 日常生活介護沼津虹の家25人・あしたか包括支援センター・居宅介護支援事業 (夜間最大定員126人)		
職種内容	相談員・介護士・管理栄養士・調理員・訪問介護員・介護支援専門員・機能訓練士 看護師・事務員(職員合計 141人)		
災害時受 入れ状況	避難者の受入れについては、60人ほど可能と思われるが、それに伴う職員配置につ いては課題があります。		
備 蓄 品 100人分	飲み水(1日1人2ℓ×6日分)・レトルト食品と缶詰(1日3食×6日分) 米常備150kg・160人分が6日間 自家発電連続運転時間 13時間 小型発電機 3台		
車両関係	特殊車両⇒ストレッチャー対応5台・車椅子対応7台 普通車両⇒普通自動車2台・軽自動車10台・軽トラック1台		

沼 津 市 ハザード マ ッ プ	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海拔	液状化危険度
	6弱	愛鷹中学校	4.5m	14.4m	23m	無
	河川の増水	土砂災害の状況		津波避難訓練	津波浸水層 30cm 時間	
	無	無		外側	無	

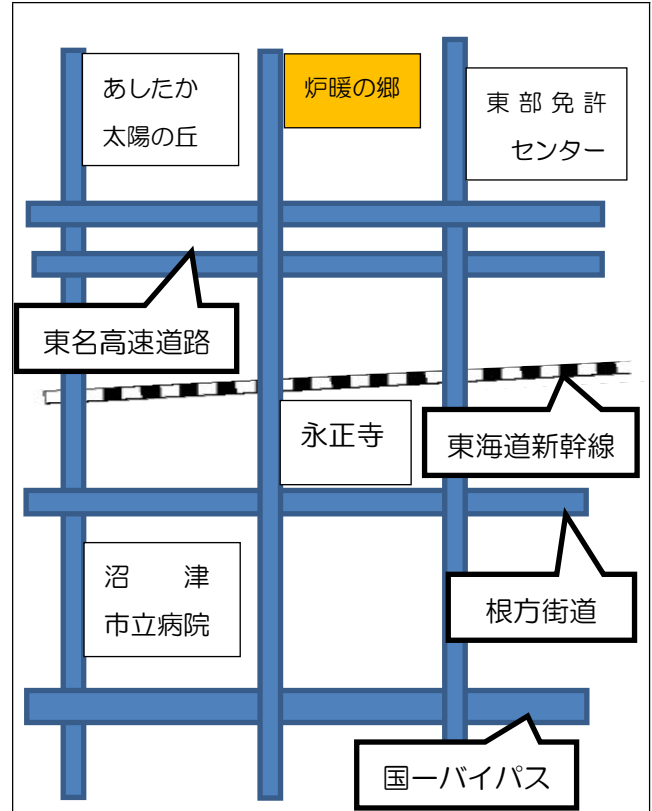
【推定津波高】片浜海岸

【海岸・河川堤防高】片浜海岸

沼 津 市 地 震 津 波 対 策	救護所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
	愛鷹中学校 966-4229	沼津市立病院 924-5100	沼津西病院 966-1181	沼津市立病院 924-5100	愛鷹小学校 966-4244

6 炉暖の郷

(福祉避難所指定 578)



【交通アクセス】 JR沼津駅よ富士急行厚生年金休暇センター・富士通線 「運転免許センター入口」
バス停 徒歩15分

【施設概要】 特別養護老人ホーム 炉暖の郷

南には駿河湾北には富士の裾野に広がる愛鷹山と自然豊かな環境に施設はあります。平成15年の設立時に敷地の文化財発掘調査で、縄文・弥生時代の竪穴式住居跡が多数(68戸)発掘され、ここに人々の暮らしがあったことが分かりました。子を産み、育て、慈しみ、老いて終焉を迎えて行く郷であったと思いを馳せます。古(いにしえ)より人々の暮らしは、灯火に明るさを求め、炉で暖を求めた暮らしを育んできたと思われまふ。この居心地の良い暖かさを持った福祉の提供を、この地に再び灯し続けていきたいと願い、「炉暖の郷」が誕生しました。「和・創造」の理念に沿い、ご利用者様に豊かで和やかな暮らしと、地域に根ざした信頼ある福祉の創造、そして生き生きとした活気と笑顔あふれる施設を目指し邁進してまいります。

【災害時の対応・訓練状況等】

防災訓練は毎月計画的に実施、入所者の避難訓練、消火訓練、情報伝達訓練、炊き出し訓練、年2回沼津市総合防災訓練、福祉施設防災訓練に総合防災訓練を実施しています。

又、災害を想定したインフラ対策として非常用発電機の設置や事業継続訓練、福祉避難所受け入れ訓練等を実施し災害に強い施設づくりをめざしております。

又、全職員には安否確認一斉通報システムを導入し、地震等においては震度4以上で自動配信にて施設と職員の情報伝達が行われます。これにより職員の安否確認と施設情報の共有が可能となり非番職員の緊急応援体制が整えました。

住 所	沼津市足高 24-24	メ ー ル	rodannosato@cotton.ocn.ne.jp
電 話	927-3939	防災無線	578
F A X	922-0889	消 防 団	金岡方面隊 25分団
運営主体	(福) 炉暖会	消 防 署	北消防署 923-0119
事業内容	介護老人福祉施設（入所者100名）・短期入所生活介護（ショートステイ）20名 （介護予防）通所介護30名・（介護予防）認知症対応型通所介護12名・（介護予防）訪問介護・居宅介護支援事業		
職種内容	相談員・看護師・介護士・管理栄養士・訪問介護員・介護支援専門員・事務員 （職員合計111名）		
災害時受 入れ状況	避難者の受け入れについては、ショートステイ、デイサービスセンター、会議室にて、 30人程度の受け入れが可能、職員配置は災害時においては困難な面はあります。		
備 蓄 品	飲料水備蓄（1日3ℓ×5日分）※井戸水用緊急電源により別途、飲料水確保可能 デトルト食品・米30kg・乾麺30kg/100人分が7日間 自家発電2台 24時間（1台EV・ダムウエーダー・居室照明・一部コンセント使用可能）、小型発電機3台		
車両関係	特殊車両⇒ストレッチャー対応2台・車いす対応4台 普通車両⇒6台 軽車両9台		

沼 津 市 ハザード マ ッ プ	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海拔	液状化危険度
	6弱	沢田小学校	4.5m	14.4m	109m	無
	河川の増水	土砂災害の状況		津波避難訓練	津波浸水層30cm時間	
	無	無		無	無	

【推定津波高】片浜海岸

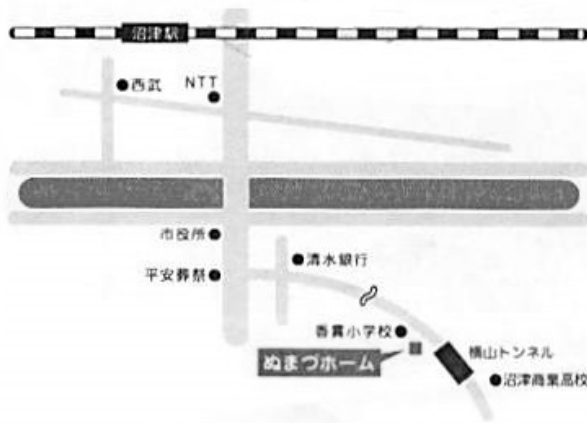
【海岸・河川堤防高】片浜海岸

【河川の増水】施設入口道路は山からの雨水により大雨時は膝下20cm程度の川となることがある。

沼 津 市	救護所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
地 震 津 波 対 策	金岡地区センター 924-5070	沼津市立病院 924-5100	沼津整形外科 921-3791	沼津市立病院 924-5100	沢田小学校 924-0161

1 めまづホーム

(福祉避難所指定 572)



【交通アクセス】 JR沼津駅より沼津登山東海下香貫・木の宮循環線 香貫小学校バス停 徒歩 1 分

【施設概要】 特別養護老人ホーム

ぬまづホームは平成元年 4 月に建設されました。場所は沼津市徳倉山ふもと、横山トンネルに向う途中にあります。100m圏内に広域避難所ともなっている香貫小学校があり、お年寄りも定期的に行事等で交流を重ねています。

事業は特別養護老人ホームおよび地域の介護の必要な高齢者へのデイサービス、ショートステイ、ホームヘルプ、居宅介護支援事業といった在宅介護事業を行っています。またかぬぎ包括支援センターも併設しています。

海岸からはおよそ 2 km ですが、海拔 30m 以上あり津波の危険性はありません。また地盤においても液状化などの指摘は受けておりません。

【災害時の対応・訓練状況等】

防災訓練は毎月計画的に実施しています。内容は入居者の避難訓練、職員による消火訓練、情報伝達訓練などを中心に行っています。沼津市の総合防災訓練や、福祉施設防災訓練時にも情報伝達訓練などを中心に参加しています。通常は緊急連絡網による訓練を行っていますが、災害時電話が使用不可の場合について現在検討中です。

また、地域においても高台にあることから、東日本大震災後の大きな地震では近隣の住民が車で一斉に避難をしてきて、敷地が大混乱したという経験をしています。元々近隣で福祉避難所が少なく、しかも海沿いの地域であることから、地域全体の混乱が予測されます。

住 所	沼津市下香貫猪沼 981-2	メ ー ル	wbs27785@mail.wbs.ne.jp
電 話	934-1821	防災無線	572
F A X	934-1831	消 防 団	香貫方面隊 4分団
運営主体	(福)信愛会	消 防 署	南消防署 934-0119
事業内容	介護老人福祉施設(入居者70人)・短期入所生活介護(20人)・一般型通所介護25人・認知症対応型12人・訪問介護・居宅介護支援事業所・かぬぎ地域包括支援センター		
職種内容	介護職員・相談員・管理栄養士・調理員・介護支援専門員・事務員(職員120名)		
災害時受入れ状況	デイサービスなどを活用し、受入は可能ですが、職員配置は困難であろうと予測できます		
備 蓄 品	保存水2ℓ600本、500ml312本、150人3日分、非常食150食×6日分 受水槽 24㎡		
車両関係	特殊車両⇒車椅子2台搭載10人定員車両2台・車椅子2台搭載8人定員車両1台、 車椅子1台搭載4人定員車両2台、助手席リフトアップ車両8人定員2台、助手席リフトアップ車両4人定員1台 合計 8台 普通車両⇒8台		

沼 津 市 ハザード マ ッ プ	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海拔	液状化危険度
	6弱	香貫小学校	6.7m	7.8m	20m	無
	河川の増水	土砂災害の状況		津波避難訓練	津波浸水層30cm時間	
	無	特別警戒区域		外側	無	

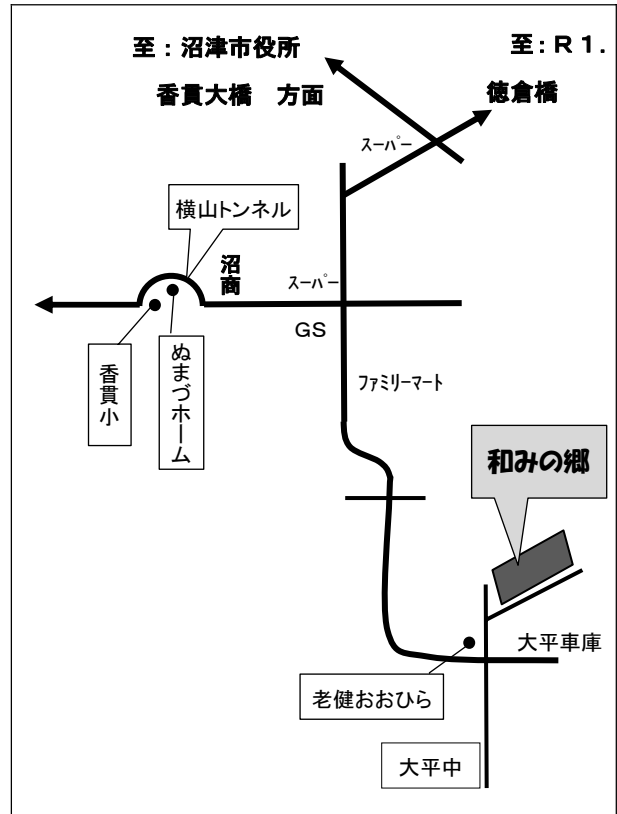
【海岸・河川堤防高】我入道地区海岸より2kmほど離れている

【河川の増水】狩野川が洪水の際は、沼津市中央地区と寸断される

沼 津 市 地 震 津 波 対 策	救護所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
	第三地区センター 934-8003	沼津リハビリ 931-1911	香貫医院 931-2465	沼津市立病院 924-5100	香貫小学校 931-1234

8 和みの郷

(福祉避難所指定 575)



【交通アクセス】沼津駅⑥から沼津登山東海バス 大平車庫行き「大平中学校前」バス停 徒歩5分

【施設概要】 特別養護老人ホーム

平成14年4月開設。北に富士山を望み、沼津アルプスと大平の広大な田畑に囲まれた自然あふれる環境の中にあります。

特別養護老人ホーム定員80名、ショートステイ定員20名、ケアハウス定員30名のほか、グループホーム9名、小規模多機能ホーム、デイサービスを併設しています。

【災害時の対応・訓練状況等】

各部署の代表者による防災委員会を組織、火災・地震・水害に備えたマニュアルを整備し、各種訓練を実施評価しています。訓練の主なものは、入居者の避難訓練（日中、夜間想定）・消火訓練・炊き出し訓練の他、図上訓練（DIG研修）、水害時避難路確認などです。

全職員に対し携帯メールシステムによる連絡体制を確保しており、年に1～2回、施設周囲が冠水する場合にも、施設対策本部からの状況報告や指示伝達に有効に機能しています。

住 所	沼津市大平1538-1	メー ル	wbs73180@mail.wbs.ne.jp
電 話	935-5252	防災無線	575
F A X	933-7530	消 防 団	大平方面隊 29分団
運営主体	(福)信愛会	消 防 署	大平分遣所 933-0119
事業内容	介護老人福祉施設(80人)・短期入所生活介護(20人)・一般型通所介護(18人) 認知症対応型共同生活介護(9人)・小規模多機能型居宅介護(29人) ケアハウス(30人)・訪問看護		
職種内容	介護士・看護師・相談員・管理栄養士・調理員・介護支援専門員・事務員 (職員合計 130人)		
災害時受 入れ状況	24Hの入居部門で夜間職員配置があるところでは約10名程度可能と思われます。 デイサービスでは約15名程度のスペースはあるものの、寝具の不足、職員の配置が課題 です。		
備 蓄 品	飲み水(1日1人1ℓ×200人×3日分)レトルト食品(1日3食×200人×3日分) サバイバルフーズ(1日3食×200人×3日分)米常備(120Kg) 自家発電連続運転 6.5時間、生活用水は、受水槽を利用予定		
車両関係	特殊車両⇒車椅子対応6台 普通車両⇒7台		

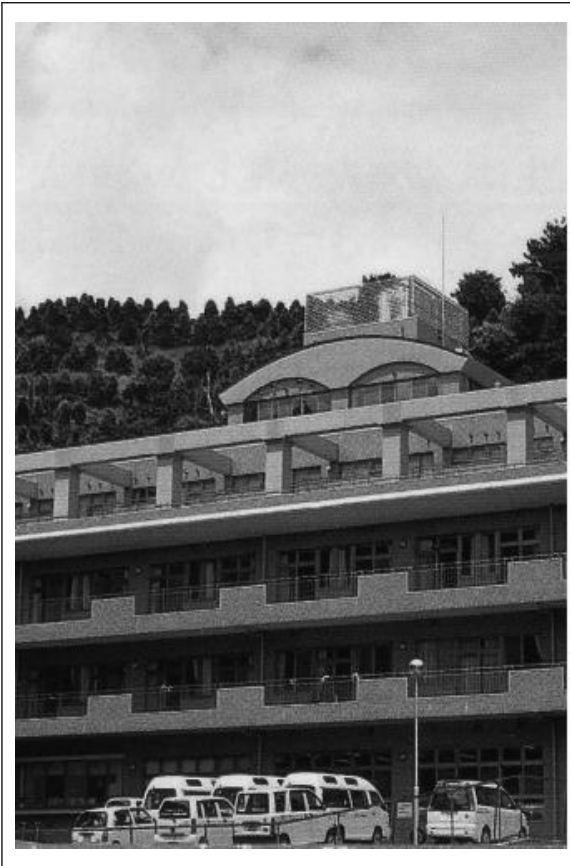
沼津市 ハザード マップ	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海拔	液状化危険度
	5強	大平小学校	無	無	8.1m	無
	河川の増水	土砂災害の状況	津波避難訓練	津波浸水層 30cm 時間		
	浸水深2~5m区域	無	外側	無		

【河川の増水】大雨時、施設の北側と西側に隣接して流れる江川が増水しやすく、周囲の道路と職員駐車場が冠水し、車両での敷地内乗り入れが不可能になります。この場合、職員のマイカー通勤が不可となるため緊急連絡により沼津駅集合でピストン送迎などの対応をしています。(例年1~2回あります)

沼津市 地震津 波対策	救護所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
	大平地区センター 934-3980	沼津リハビリ 931-1911	香貫医院 931-2465	静岡医療センター 975-2000	大平中学校 931-5021

9 しあわせの家・10 ひだまりの郷

(福祉避難所指定 574)



【最寄りのバス停】JR 沼津駅より東海バス 重須バス停 徒歩5分 伊豆箱根鉄道 伊豆長岡駅

【施設概要】 ケアハウスしあわせの家・特別養護老人ホームひだまりの郷

両施設は、1999年4月に創設され、沼津市内浦の高台(標高18m)にある。近くには、海水浴施設、ヨットハーバー、旅館、民宿など観光施設が多く、沼津市南部のリゾート地域の中にある。加えて、みかん栽培の盛んな農業振興地域の中にあり、施設周辺には農道が整備されていて、隣接する伊豆の国市にも通じている。

防災ヘリポート(長井崎中学校)、避難所(長井崎中学校)は直線で100m以内にある。

当施設は沼津市南部の福祉拠点であり、地域包括支援センター、居宅介護支援、通所介護、訪問介護、特養、短期入所、ケアハウスが同一建物の中にある。

【災害時の対応・訓練状況等】

防災委員会が組織され、防災訓練は毎月計画的に実施、入居者の避難訓練、消火訓練などを実施している。施設内の7事業それぞれが、毎回異なる想定による訓練を計画し、定期的を実施している。

津波被害では、海岸線の基幹道路が1週間程度使えなくなることを前提に、農道をつかった物資調達を検討している。

住 所	沼津市内浦重須624	メー ル	sanpokai@fancy.ocn.ne.jp
電 話	946-1700	防災無線	574
F A X	946-1701	消 防 団	内浦方面隊 13分団
運営主体	(福)三保会	消 防 署	内浦分遣所 941-3119
事業内容	介護老人福祉施設(入居者70人)・短期通所生活介護(ショートステイ)10人 一般型通所介護30人・認知症対応型通所介護12人・訪問介護(高齢者・障害者) ケアハウス30人・居宅介護支援事業(夜間最大定員 110人)		
職種内容	相談員・介護士・管理栄養士・訪問介護員・介護支援専門員・事務員 他 (職員合計 87人)		
災害時受 入れ状況	避難者の受け入れについてはデイサービス棟にて、30人ほど可能と思われるが、それに 伴う職員配置については課題があります		
備 蓄 品 100人分	飲み水(1日1人3ℓ×7日分)・レトルト食品(1日2食×7日分)・米常備100kg 100人分が1週間 自家発電連続運転時間 12時間・小型発電機 5台		
車両関係	特殊車両⇒ストレッチャー対応3台・車椅子対応4台(軽自)・マイクロバス1台 普通車両⇒普通自動車2台・軽自動車5台		

沼 津 市 ハザード マ ッ プ	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海拔	液化化危険度
	6弱	長井崎中学校	8.6m	0m	1.8m	無
	河川の増水	土砂災害の状況		津波避難訓練	津波浸水層 30cm 時間	
	無	警戒区域		内側	無	

【海岸・河川堤防高】津波対策としての防波堤なし

【河川の増水】影響する河川なし

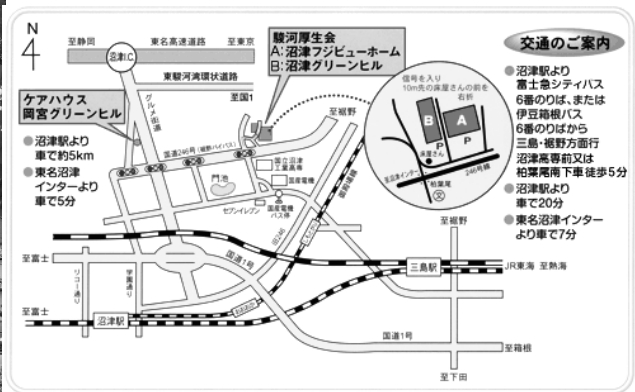
海岸通り(県道17号)が海拔ゼロメートルのため通行止めになる可能性あり

施設は高台にあるため心配ない

沼 津 市 地 震 津 波 対 策	救護所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
	内浦地区 センター 846-1100	順天堂大学 静岡病院 948-3111	伊豆医療福祉 センター 949-1165	手塚クリニック 942-3200	長井崎中学校 941-3111

11 沼津フジビューホーム

(福祉避難所指定 573)



【交通アクセス】 JR沼津駅より富士急行国産電機線 沼津高専バス停 徒歩 5分

【施設概要】 特別養護老人ホーム

沼津フジビューホームは、平成9年4月に創設され、東名高速沼津インターから車で約7分、JR沼津駅から車で約20分のところにあります。当ホームの近くにはグルメ街道、国立沼津工業高専、門池公園があり、晴れた日にはお年寄りもドライブ等に出かけます。避難所（沼津高専）は、直線距離で500メートル以内に位置します。

事業内容は、介護保険制度を利用し、介護又は支援が必要な方の入所（定員60名）、短期入所（定員20名）、一般型・認知症対応型デイサービス（定員57名）、生きがい活動支援通所サービス（定員8名）、ホームヘルプサービス、居宅介護支援サービスを運営しています。

【災害時の対応・訓練状況等】

防災訓練は毎月計画的に実施、入所利用者の避難訓練、職員の防災訓練として消火訓練、メール配信による安否確認・情報伝達訓練、炊出し訓練、用具の点検や組立訓練を実施しています。また、9月と11月にはケアハウス沼津グリーンヒルと合同での防災訓練を実施しています。

災害時の職員参集については、震度5強以上で防災委員・各主任以上は施設に参集、その他の職員は待機とし、その後の対応は協議決定後、迅速に情報伝達を行うシステムを確立してあります。

住 所	沼津市大岡字柏葉尾3571-1	メ ー ル	suru-ga@athena.ocn.ne.jp
電 話	926-8500	防災無線	573
F A X	926-8504	消 防 団	大岡方面隊 22分団
運営主体	(福)駿河厚生会	消 防 署	北消防署 923-0119
事業内容	介護老人福祉施設(定員60名)、ショートステイ(定員20名)、 一般型通所介護(定員45名)、認知症対応型通所介護(定員12名)、 生きがい活動支援通所事業(定員8名)、ホームヘルプサービス、 居宅介護支援事業、在宅介護支援センター		
職種内容	事務員5名、管理栄養士1名、介護支援専門員4名、生活相談員3名、介護員41名、 介助員4名、看護師9名、訪問介護員8名、シルバー委託職員9名、厨房委託職員8名 計92名		
災害時受 入れ状況	16人程度の受入れが可能です。		
備 蓄 品 250人分	水：飲料水1.5ℓ×250人×7日分=2625ℓ／調理等使用水1180ℓ 食料：150食×3日分(レトルト粥、ツナフレーク、やきとり缶、さんまの蒲焼、かつ お味付、さば味噌煮、とりそぼろ、野菜ジュース、フルーツ缶) アルファ化米154食、味噌汁缶54食 自家発電機8時間使用可能、ほか小型発電機1台、テント5基、簡易トイレ8基あり		
車両関係	特殊車両⇒ストレッチャー対応7台、車椅子対応2台 普通車両⇒普通車3台、軽自動車5台、原動機付自転車1台		

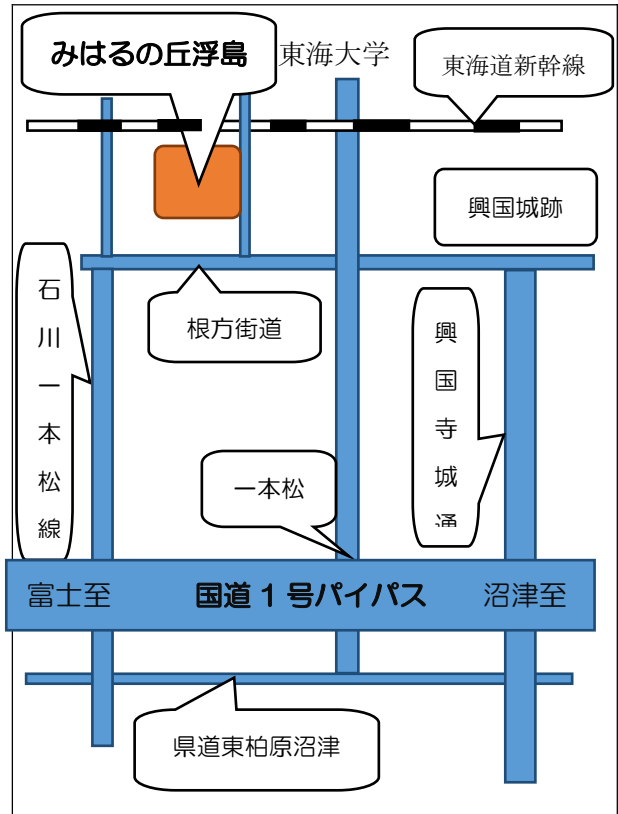
沼 津 市 ハザード マ ッ プ	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海拔	液状化危険度
	6弱	沼津高専	無	無	50m	無
	河川の増水	土砂災害の状況		津波避難訓練	津波浸水層 30 cm 時間	
	無	無		外側	無	

【推定津波高】沼津市の北部に位置するため津波については心配ないと思われる

沼 津 市	救護所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
地 震 津 波 対 策	門池地区センター 929-0770	池田病院 986-1212	西島病院 922-8235	静岡医療センター 924-5100	門池中学校 923-3900

12 みはるの丘浮島

(福祉避難所指定 577)



【交通アクセス】 JR沼津駅から 富士急行根方線 吹上バス停下車 徒歩5分

JR原駅からミューバス 原駅循環 吹上バス停下車 徒歩5分

【施設概要】 特別養護老人ホーム

みはるの丘浮島は平成16年4月に創設され、沼津市の西部の浮島地区（平沼）の高台にあり、東は沼津市街と箱根山、南は、駿河湾と大瀬崎、西は富士の製紙工場の煙突群、天気の良い日は清水まで展望できます。近くには東海大学、第二東名のパーキング（ネオパーサー）、興国寺城跡もありお年寄りもよく出かけます。

防災ヘリポート（浮島中学校）、避難所（浮島小学校）は直線で100m以内にあります。

業務内容は介護保険の認定を受けられ、介護が必要な方への入居、及び地域の方への在宅福祉サービスと相談業務を中心に行っています。

【災害時の対応・訓練状況等】

防災訓練は毎月計画的に実施、入居者の避難訓練、消火訓練、情報伝達訓練、炊出し訓練を実施、年2回沼津市総合防災訓練、福祉施設防災訓練時に総合防訓練を実施しています。

突発性の地震等については避難が難しいと感じています。まだまだ課題が残りますが月に1度、防災訓練を実施しています。また、情報伝達訓練につきましては、平常時の場合で実施しているので、ネットや電話が使用できない状態では不安が解消されません。震度5弱では主任者以上は施設に連絡確認をする。震度5強以上であれば施設に全職員施設に向かうこととしています。

住 所	沼津市平沼929-1	メ ー ル	miharunooka@themis.ocn.ne.jp
電 話	969-3355	防災無線	577
F A X	969-3385	消 防 団	浮島方面隊 35分団
運営主体	(福)春風会	消 防 署	原分遣所 967-0119
事業内容	介護老人福祉施設(入居者80人)・短期通所生活介護(ショートステイ)16人 一般型通所介護30人・認知症対応型通所介護12人・訪問介護(高齢者・障害者) ケアハウス10人・居宅介護支援事業(夜間最大定員 116人)		
職種内容	相談員・介護士・管理栄養士・調理員・訪問介護員・介護支援専門員・事務員 (職員合計 95人)		
災害時受 入れ状況	避難者の受け入れについてはデイサービス棟にて、30人ほど可能と思われるが、それに 伴う職員配置については課題があります		
備 蓄 品 100人分	飲み水(1日1人3ℓ×7日分)・デトルト食品(1日2食×7日分)・米常備100kg 100人分が1週間 自家発電連続運転時間12時間・小型発電機4台		
車両関係	特殊車両⇒ストレッチャー対応3台・車椅子対応5台 普通車両⇒普通自動車7台・軽自動車6台・軽トラック2台		

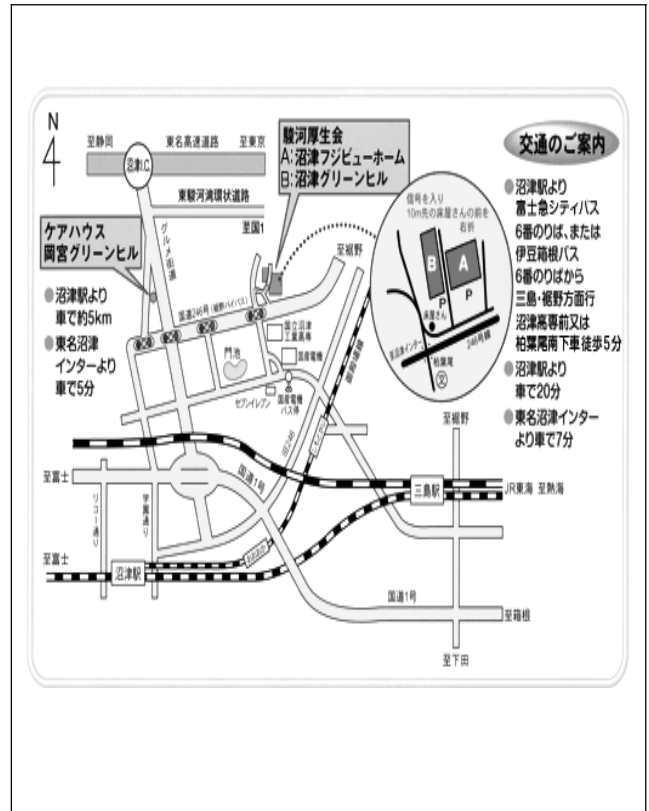
沼 津 市 ハザード マ ッ プ	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海拔	液状化危険度
	6弱	浮島小学校	3.6m	17m	25m	無
	河川の増水	土砂災害の状況	津波避難訓練	津波浸水層 30cm 時間		
	浸水深 1~2m区域	無	外側	無		

【海岸・河川堤防高】原海岸、原海岸より2.5km離れており高台に建設されている

【河川の増水】大雨の時、国1バイパスと根方街道の南北の道路は水没し通行できない
施設には直接影響ない

沼 津 市 地 震 津 波 対 策	救護所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
	浮島地区センター 868-1322	沼津市立病院 924-5100	沼津西病院 966-1181	沼津市立病院 924-5100	浮島中学校 966-2040

13 ケアハウス沼津グリーンヒル(福祉避難所指定 573)



【交通アクセス】 JR沼津駅より 富士急シティバス線 沼津高専バス停 徒歩 5分

【施設概要】 ケアハウス

平成9年4月に創設。沼津市東部、国道246線（新）沿いにあり、近くには沼津工業高等専門学校（沼津高専）があります。敷地周辺に同法人、社会福祉法人 駿河厚生会の施設として、特別養護老人ホーム「沼津フジビューホーム」「丘の上保育園」、車で所要時間5分程の岡一色にケアハウス（特定施設）「岡宮グリーンヒル」があります。

防災ヘリポート（門池中学校）までは直線距離700m程となります。

業務内容として、60歳以上の自立した生活ができる方に対して、個室での生活、お風呂（共同）の提供、食事の提供を行います。

【災害時の対応・訓練状況等】

防災訓練は毎月、地震、火災、日中、夜間を想定し入居者の避難訓練を行っています。消火、炊き出し訓練に関しては沼津フジビューホームと合同で職員が実施。総合防災訓練、福祉施設防災訓練に関しても、合同訓練を実施しております。

情報伝達として、静岡県東部の地震発生に自動送信メールが職員全員に送信、震度5強以上で防災委員、主任以上が施設へ向かい、他の職員は自宅待機より、要請に応じ施設へ向かう形を取っております。

住 所	沼津市大岡字柏葉尾3576-6	メ ー ル	sp577um9@dune.ocn.ne.jp
電 話	926-8503	防災無線	573
F A X	924-0397	消 防 団	大岡方面隊 22分団
運営主体	(福)駿河厚生会	消 防 署	北消防署 923-0119
事業内容	ケアハウス38人		
職種内容	施設長・事務員・生活相談員・介護職員 (職員合計 5人)		
災害時受 入れ状況			
備 蓄 品	飲み水(1日1人 1ℓ×7日分)・食品(1日3食×3日分) 小型発電機 1台(共用)		
車両関係	特殊車両⇒車椅子対応1台 普通車両⇒普通自動車1台		

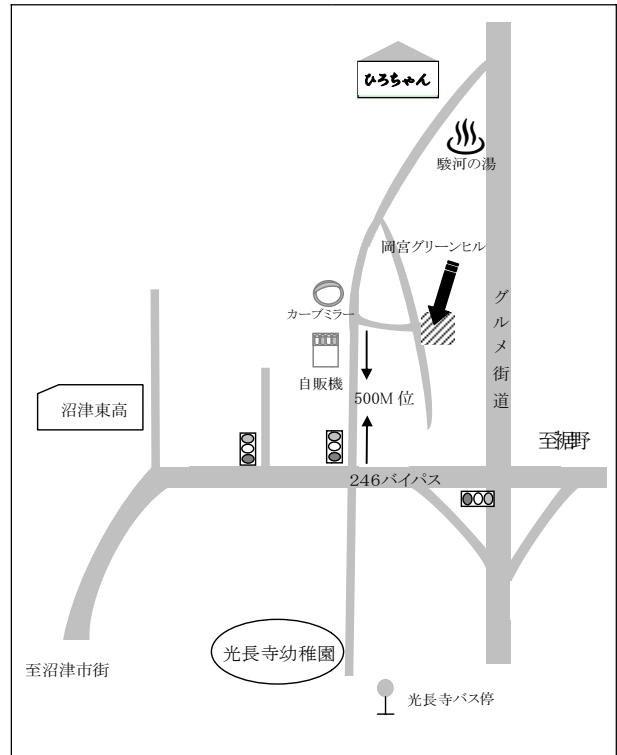
沼 津 市	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海拔	液状化危険度
ハザード	6弱	沼津高専	無	無	49.7m	無
マ ッ プ	河川の増水	土砂災害の状況	津波避難訓練	津波浸水層 30 cm 時間		
	無	無	外側	無		

【推定津波高】沼津市の北部に位置するため津波については心配ないと思われる

沼 津 市	救護所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
地震津 波 対 策	金岡地区センター 924-5070	池田病院 986-1212	西島病院 922-8235	池田病院 986-1212	門池中学校 923-3900

14 岡宮グリーンヒル

(福祉避難所指定 584)



【交通アクセス】 JR沼津駅より富士急行国産電機線 光長寺バス停 徒歩10分

【施設概要】 ケアハウス

岡宮グリーンヒルは平成20年3月に併設され、沼津市の北部岡宮地区の高台にあり、南に駿河湾をみおろし、北に富士山と愛鷹山を望み、茶畑と閑静な住宅地の中にあります。近くには東名高速、第二東名のインターチェンジ、グルメ街道や門池公園、光長寺があり、買い物やお花見の外出行事を行っております。

業務内容は、介護保険制度を利用し、介護が必要な方への入居、及び介護サービスを行っております。ユニットごとに設けたリビングで入居者様とコミュニケーションを図りながら、各入居者様のリズムに沿った生活を支援しています。

【災害時の対応・訓練状況等】

防災訓練は毎月計画的に実施、入居者の避難訓練、消火訓練、緊急連絡網訓練、情報伝達訓練、炊出し訓練を実施、9月に地域防災訓練、12月に広域地区防災訓練に参加しています。また1月8日には災害用伝言ダイヤル体験訓練を実施、年に1度普通救命講習会を実施しています。

震度5強以上であれば、施設に全員出勤としています。

住 所	沼津市岡宮1182-1	メ ー ル	care-okanomiya@tulip.ocn.ne.jp
電 話	928-6811	防災無線	584
F A X	928-6833	消 防 団	金岡方面隊 23分団
運営主体	(福)駿河厚生会	消 防 署	北消防署 923-0119
事業内容	ケアハウス（特定施設入居者生活介護）（入居者60名）一般型通所介護（24名）		
職種内容	相談員・介護士・管理栄養士・介護支援専門員・事務員 （職員合計51名）		
災害時受 入れ状況	避難者の受け入れについては機能訓練室にて8名ほど可能と思われませんが、それに伴う職員配置については課題があります。		
備 蓄 品 100人分	飲み水（2ℓ×6本×60箱）・アルファ米（50食×13箱）米40kg・防災用五目御飯（50食×2箱）漬物・缶詰・ビスコ・乾燥粥等 100人分×1週間 自家発電機1台 連続運転時間72時間		
車両関係	特殊車両⇒ストレッチャー対応1台、車椅子対応2台、スロープ使用2台 普通車両⇒軽自動車1台		

沼津市 ハザード マップ	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海拔	液状化危険度
	6弱	沼津東高校	無	無	49.5m	無
	河川の増水	土砂災害の状況	津波避難訓練	津波浸水層30cm時間		
	無	無	無	無		

【推定津波高】沼津市の北部に位置するため津波については心配ないと思われる

沼津市 地震津 波対策	救護所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
	門池地区センター 929-0770	西島病院 922-8235	沼津整形外科病院 921-3791	静岡医療センター 975-2000	沼津東高校 921-0341

15 陽光園

(福祉避難所指定 585)



【交通アクセス】 JR沼津駅より富士急行 下松沢バス停 徒歩5分

【施設概要】 特別養護老人ホーム

陽光園は平成19年7月に開設しました。市有の緑地に面した自然豊かな環境の中に位置し、全室ユニット型個室でアットホームな介護、穏やかで安らぎのある暮らしを送って頂けるよう努めています。国道1号線・東名沼津IC・伊豆縦貫道にも近く、遠方からご面会にいらっしゃる際の利便性も高い場所に立地しています。

入所サービスの他にも、居宅介護支援・通所介護・短期入所等の在宅高齢者支援も積極的に行っており、地域に開かれた施設を目指しております。

【災害時の対応・訓練状況等】

入居者の避難訓練、消火訓練、緊急連絡網伝達訓練、AED講習等、年間計画に基づき毎月計画的に実施しています。また、沼津市総合防災訓練実施、下松沢地域防災訓練への参加も行っています。

訓練は主に日中の時間帯を中心に行っている為、職員の少ない夜間帯を想定した訓練等も検討し、非常災害への準備に努めていきたいと思っております。

住 所	沼津市岡宮字下松沢1417-1	メ ー ル	yokoen@pure.ocn.ne.jp
電 話	924-5665	防災無線	585
F A X	924-6866	消 防 団	金岡方面隊 23分団
運営主体	(福) 珀寿会	消 防 署	北消防署 923-0119
事業内容	介護老人福祉施設(入居者80人)・(介護予防)短期入所生活介護(ショートステイ)10人 (介護予防)通所介護(デイサービス)20人・居宅介護支援事業		
職種内容	介護士・看護師・相談員・管理栄養士・機能訓練士・介護支援専門員・事務員 (職員合計 70人)		
災害時受 入れ状況	可能 避難者の受け入れについてはデイサービスフロアにて20名ほど可能です		
備 蓄 品 90人分	入所者(80名)・短期入所者(10名)用の食材・飲料3日分を常時確保 自家発電機連続運転時間12時間		
車両関係	特殊車両⇒ストレッチャー対応3台、車椅子対応1台 普通車両⇒軽自動車2台		

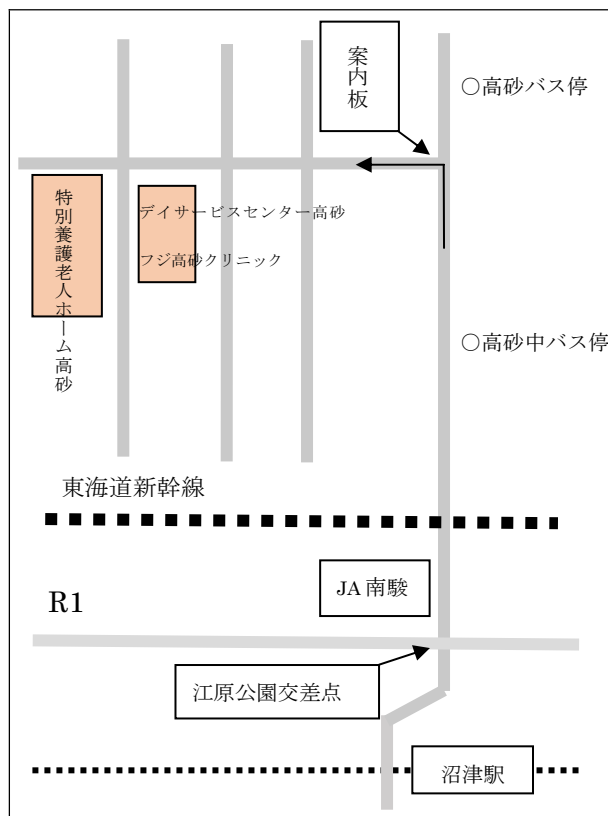
沼 津 市	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海拔	液状化危険度
ハザード	6弱	沼津東高	無	無	49.5m	無
マ ッ プ	河川の増水	土砂災害の状況		津波避難訓練	津波浸水層 30cm 時間	
	無	無		外側	無	

【推定津波高】沼津市の北部に位置するため津波については心配ないと思われる

沼 津 市	救護所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
地震津 波対策	金岡地区センター 924-5070	西島病院 922-8235	沼津整形外科 921-3791	沼津市立病院 924-5100	門池中学校 923-3900

17 特別養護老人ホーム高砂

(福祉避難所指定 有)



【交通アクセス】 JR沼津駅より富士急行駿河台線 高砂中バス停 徒歩3分

【施設概要】 特別養護老人ホーム

特別養護老人ホーム高砂は平成23年5月に開設され、5年目を迎えました。当施設は駿河湾が一望できる愛鷹山の麓に位置し、住宅街の中にありながら周辺には茶畑や公園などが点在する自然豊かな環境にあります。

又、高砂は「高砂クリニック」が併設されていて利用者様の急な病状の変化にも素早い対応が可能です。アクセスは東名沼津インターより西方に約10分と交通の面でも恵まれております。

【災害時の対応・訓練状況等】

防災訓練は、毎月主に消火訓練・避難訓練・情報収集訓練・呼集訓練等のテーマを決めて実施し、又、新入職員・中途採用職員には、その都度消火設備の場所・取り扱い説明・避難経路・避難場所等の説明を行い、全職員が防災機器の操作・避難・誘導等できるよう指導しています。

又、災害による負傷者が発生した場合、当施設向え(8m道路挟む)に当法人グループの高砂クリニックを併設している為、迅速な救護が可能と思われます。

住 所	沼津市高砂町 1-5	メー ル	takasago-jimu@hakuyu-kai.or.jp
電 話	941-5681	防災無線	無
F A X	941-6131	消 防 団	金岡方面隊 24分団
運営主体	(福)博友会	消 防 署	北消防署 923-0119
事業内容	介護老人福祉施設（入居者 80 人） 小規模通所介護 15 人 居宅介護支援事業		
職種内容	相談員・看護師・介護士・管理栄養士・介護支援専門員・機能訓練指導員・事務員 (職員合計 48 人)		
災害時受 入れ状況	避難者の受け入れについては特養棟にて 4 名、デイ棟にて 3 名程度が可能と思われるが、 それに伴う職員配置（特に夜間）が課題となる。		
備 蓄 品 120人分	飲料水（1日/1人/3ℓ×7日×120名分）アルファ米・副食各（1日/1人/2食×3 日×120名分） 設置型自家発電機（運転時間 10 時間） 移動用小型発電機 1 台		
車両関係	特殊車両⇒車椅子対応（普）2台（軽）1台 トラック（2t）1台 普通車両⇒（軽）3台		

沼 津 市 ハザード マ ッ プ	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海拔	液状化危険度
	6弱	沼津東高	4.5m	14.4m	53m	無
	河川の増水	土砂災害の状況		津波避難訓練	津波浸水層 30 cm 時間	
	無	無		外側	無	

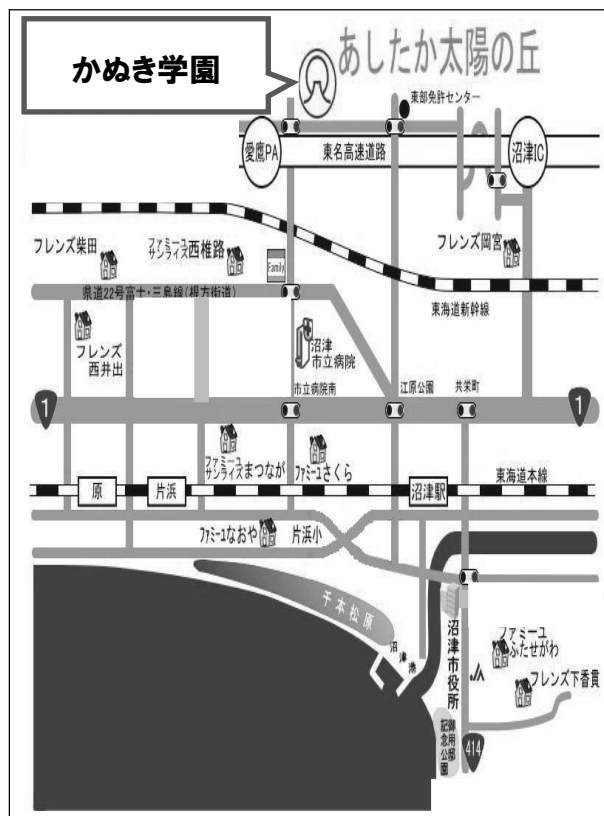
【海岸・河川堤防高】片浜海岸想定

【河川の増水】片浜海岸想定 海岸から離れており高台にあるので津波の心配はない

沼 津 市 地 震 津 波 対 策	救護所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
	金岡地区センター 924-5070	沼津市立病院 924-5010	池田病院 986-1212	沼津市立病院 924-5100	県営愛鷹広域公園 924-8878

18 かめき学園

(福祉避難所指定 580)



【交通アクセス】 JR沼津駅より富士急行根方線 あしたか太陽の丘本館前バス停 徒歩 1 分

【施設概要】 障害者視支援施設

かめき学園は、昭和 54 年 4 月に開所され、平成 23 年に現在の建物に改築しました。

障害者支援施設（生活介護事業）として、主に重度の身体障害をお持ちの方の日常生活に必要な介護を行っています。

当施設は沼津市の北部に位置する愛鷹山の中腹に位置し、駿河湾や大瀬崎の景観が望めます。近くには、東名高速道路愛鷹PAやニューウェルサンピア、愛鷹運動公園があり、桜の季節には愛鷹運動公園で散策を行います。また、施設から約 3.5 km 下ったところに沼津市立病院があり、当法人のグラウンドはドクターヘリのヘリポートして活用されています。

【災害時の対応・訓練状況等】

防災訓練は、火災及び地震を想定し、毎月計画的に実施しています。また、年 2 回の総合防災訓練を、9 月及び 11 月に実施しています。

震度 5 強以上の地震が沼津市で観測された際には、全職員が施設へ出勤することとしています。

住 所	沼津市宮本5-2	メ ー ル	kanuki@a-taiyou.jp
電 話	923-7910	防災無線	580 (法人本部内に設置)
F A X	923-8051	消 防 団	愛鷹方面隊 26~28分団
運営主体	(福) あしたか太陽の丘	消 防 署	西分署 924-0119
事業内容	施設入所支援 (定員 40 人) 生活介護 (定員 40 人) 短期入所事業 (定員 3 人)		
職種内容	事務員、サービス管理責任者、生活支援員、作業療法士、看護師 職員総数：32 人 (非常勤含む)		
災害時受入れ状況	避難者の受入れ人数は 13 人。身体に障害がある方が利用している施設のため、1 階作業訓練室、2 階食堂やデイルームにパーテーション等設置して、生活スペースを整えることで 13 人が可能です。(付添者を含む)		
備 蓄 品 500 人分	飲料水 (1 日 1 人 1.5ℓ×4 日分)・クラッカー (1 日 1 食×3 食分)・主菜缶詰 (1 日 1 食×3 食分)・パン (1 日 1 食×2 食分) フリーズドライごはん (7 食分)・アルファ米 (3 食分) アルファ米用水 (270ℓ) ※法人全体で 500 人分を 5 日分備蓄		
車両関係	特殊車両⇒車椅子対応 5 台・マイクロバス 1 台 普通車両⇒普通自動車 11 台・軽自動車 2 台・貨物 10 台		

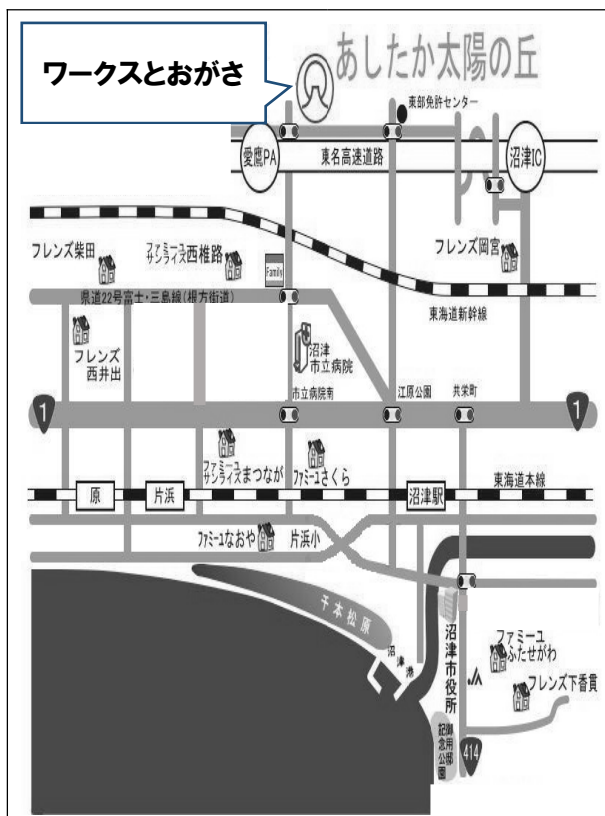
沼津市 ハザード マップ	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海拔	液化化危険度
	6弱	愛鷹小学校	4.5m	14.4m	120m	無
	河川の増水	土砂災害の状況		津波避難訓練	津波浸水層 30 cm 時間	
	無	無		外側	無	

【海岸・河川堤防高】片浜海岸を記入、片浜海岸より 6km 離れている

沼津市 地震津 波対策	救護所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
	愛鷹中学校 966-4229	沼津市立病院 924-5100	沼津西病院 966-1181	沼津市立病院 924-5100	愛鷹中学校 966-4229

19ワークスとおがさ

(福祉避難所指定 580)



【交通アクセス】 JR沼津駅より富士急行根方線 あしたか太陽の丘本館前バス停 徒歩 1分

【施設概要】 障害者支援施設

ワークスとおがさは、昭和55年4月に開所され、平成23年に現在の建物に改築しました。業務内容は、施設入所支援、生活介護、短期入所事業のサービスを提供しています。生産活動（組立加工班、縫製班）を中心に創作的活動、介護入浴、機能訓練などの日中活動支援を行っています。当施設は沼津市の北部に位置する愛鷹山の中腹に位置し、駿河湾や大瀬崎の景観が望めます。近くには、東名高速道路愛鷹PAやニューウェルサンピア、愛鷹運動公園があります。また、施設から約3.5 km下ったところに沼津市立病院があり、当法人のグラウンドはドクターヘリのヘリポートして活用されています。

【災害時の対応・訓練状況等】

防災訓練は、火災及び地震を想定し、毎月計画的に実施しています。また、年2回の総合防災訓練を、9月及び11月に実施しています。

震度5強以上の地震が沼津市で観測された際には、全職員が施設に出勤することとしています。

住 所	沼津市宮本5-2	メ ー ル	toogasa@a-taiyou.jp
電 話	923-7914	防災無線	580 (法人本部内に設置)
F A X	923-7857	消 防 団	愛鷹方面隊 26~28分団
運営主体	(福) あしたか太陽の丘	消 防 署	西分署 924-0119
事業内容	施設入所支援 (定員40人)・生活介護 (定員60人) 短期入所事業 (定員5人)		
職種内容	事務員、サービス管理責任者、生活支援員、看護師、理学療法士 職員合計25名 (非常勤含む)		
災害時受 入れ状況	避難者の受け入れについては、1階ホールの3分の1を解放して、最大5人ほどの受け入れ可能です。		
備 蓄 品 500人分	飲料水 (1日1人1.5ℓ×4日分)・クラッカー (1日1食×3食分)・主菜缶詰 (1日1食×3食分)・パン (1日1食×2食分) フリーズドライごはん (7食分)・アルファ米 (3食分) アルファ米用水 (270ℓ) ※法人全体で500人分を5日分備蓄		
車両関係	特殊車両→車椅子対応5台・マイクロバス1台 普通車両→普通自動車11台・軽自動車2台・貨物10台		

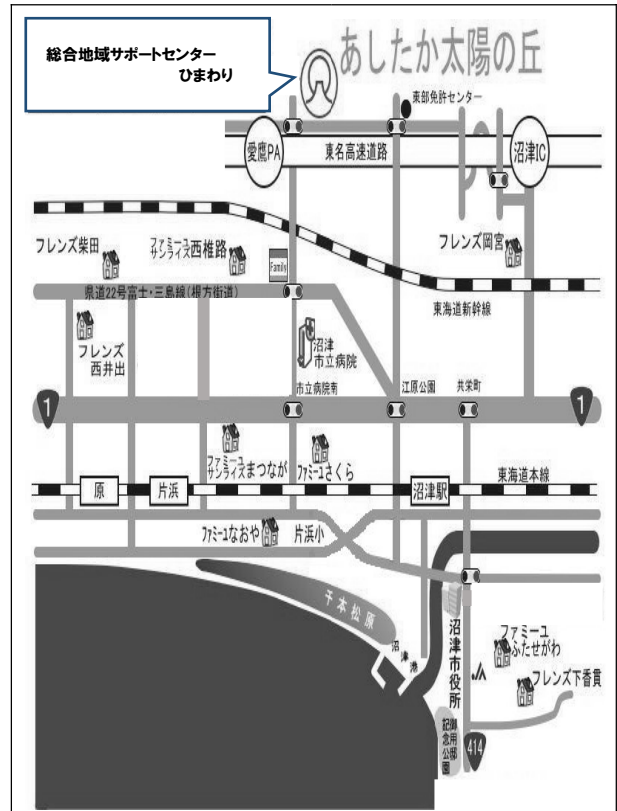
沼津市 ハザード マップ	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海拔	液化化危険度
	6弱	愛鷹小学校	4.5m	14.4m	120m	無
	河川の増水	土砂災害の状況		津波避難訓練	津波浸水層 30 cm 時間	
	無	無		外側	無	

【推定津波高】片浜海岸 沼津市の北部に位置するため津波については心配ないと思われる

【海岸・河川堤防高】片浜海岸

沼津市 地震津 波対策	救護所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
	愛鷹中学校	沼津市立病院	沼津西病院	沼津市立病院	愛鷹中学校
	966-4229	924-5100	966-1181	924-5100	966-4229

20 総合地域サポートセンターひまわり



【交通アクセス】 JR沼津駅より富士急行根方線 あしたか太陽の丘本館前バス停 徒歩 1 分

【施設概要】

総合地域サポートセンターひまわりは、以下の 3 事業を県及び市から受託し、地域で生活をしている方々の相談支援を行っています。事務所は、あしたか太陽の丘本館 1 階にあります。

- 1 就業・生活支援センターひまわり
障害のある方と雇用企業等に対して就業支援をしています。
- 2 静岡県地域生活定着支援センターひまわり
保護観察所、関係機関と連携をして、福祉の支援が必要な触法障害者等の社会復帰を支援しています。
- 3 生活支援センターあしたか
障害のある方等の相談に応じ、必要な情報提供やサービス等利用計画の作成を行っています。

【災害時の対応・訓練状況等】

防災訓練については、年に 2 回沼津市総合防災訓練、社会福祉施設防災の日に総合防災訓練を実施しています。

震度 5 強以上の地震が沼津市で観測された際には、全職員が施設へ出勤することとしています。

住 所	沼津市宮本5-2	メ ー ル	himawari@a-taiyou.jp
電 話	923-7981	防災無線	580 (法人本部内に設置)
F A X	923-7985	消 防 団	愛鷹方面隊 26~28分団
運営主体	(福)あしたか太陽の丘	消 防 署	西分署 924-0119
事業内容	障害者就業・生活支援センター事業 静岡県指定特定相談支援事業・沼津市障害者相談支援事業 地域生活定着支援事業		
職種内容	支援員・相談員・社会福祉士 (職員合計 13人)		
災害時受入れ状況	当事業所は、相談支援事業が主な業務になっており、災害時は、法人内の各施設の受け入れの支援を行うこととなります。		
備蓄品 500人分	飲料水 (1日1人1.5ℓ×4日分)・クラッカー (1日1食×3食分)・主菜缶詰 (1日1食×3食分)・パン (1日1食×2食分) フリーズドライごはん (7食分)・アルファ米 (3食分) アルファ米用水 (270ℓ) ※法人全体で500人分を5日分備蓄		
車両関係	特殊車両⇒車椅子対応5台・マイクロバス1台 普通車両⇒普通自動車11台・軽自動車2台・貨物10台		

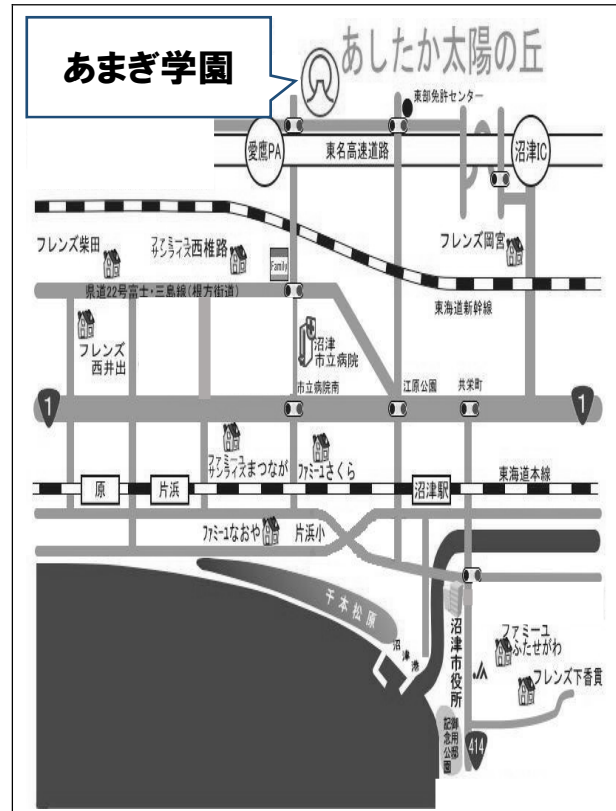
沼津市 ハザード マップ	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海拔	液状化危険度
	6弱	愛鷹小学校	4.5m	14.4m	120m	無
	河川の増水	土砂災害の状況		津波避難訓練	津波浸水層 30cm 時間	
	無	無		外側	無	

【推定津波高】片浜海岸を記入、片浜海岸より6km離れ、沼津市の北部に位置するため津波については心配ないと思われる

沼津市 地震津 波対策	救護所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
	愛鷹中学校	沼津市立病院	沼津西病院	沼津市立病院	愛鷹中学校
	966-4229	924-5100	966-1181	924-5100	966-4229

21 あまぎ学園

(福祉避難所指定 580)



【交通アクセス】 JR沼津駅より富士急行根方線 あしたか太陽の丘本館前バス停 徒歩 1 分

【施設概要】 障害者支援施設

あまぎ学園は昭和 53 年 5 月に開所され、平成 24 年に現在の建物に改築しました。

業務内容は、施設入所支援、自立訓練、就労継続支援 B 型、短期入所事業のサービスを提供しております。生活訓練を中心に、組立、農園芸、ビルメンテナンスの作業支援を行っています。

当施設は沼津市の北部に位置する愛鷹山の中腹に位置し、駿河湾や大瀬崎の景観が望めます。近くには、東名高速道路愛鷹 P A やニューウェルサンピア、愛鷹運動公園があります。また、施設から約 3.5 km 下ったところに沼津市立病院があり、当法人のグラウンドはドクターヘリのヘリポートして活用されています。

【災害時の対応・訓練状況等】

防災訓練は、火災及び地震を想定し、毎月計画的に実施しています。また、年 2 回の総合防災訓練を、9 月及び 11 月に実施しています。

震度 5 強以上の地震が沼津市で観測された際には、全職員が施設へ出勤することとしています。

住 所	沼津市宮本5-2	メ ー ル	amagi@a-taiyou.jp
電 話	923-7909	防災無線	580 (法人本部内に設置)
F A X	923-7912	消 防 団	愛鷹方面隊 26~28分団
運営主体	(福) あしたか太陽の丘	消 防 署	西分署 924-0119
事業内容	施設入所支援 (定員 40 人)・自立訓練 (定員 35 人)・就労継続支援 B 型 (定員 25 人) 短期入所事業 (定員 7 人)		
職種内容	事務員、サービス管理責任者、看護師、支援員 (職員合計 21 名)		
災害時受 入れ状況	避難者の受け入れについては、作業訓練室、多目的室を開放して最大 30 人ほどの受け入れが可能と思われますが、それに伴う職員配置については課題があります。		
備 蓄 品 500 人分	飲料水 (1 日 1 人 1.5ℓ×4日分)・クラッカー (1 日 1 食×3食分)・主菜缶詰 (1 日 1 食×3食分)・パン (1 日 1 食×2食分) フリーズドライごはん (7食分)・アルファ米 (3食分) アルファ米用水 (270ℓ) ※法人全体で 500 人分を 5 日分備蓄		
車両関係	特殊車両⇒車椅子対応 5 台・マイクロバス 1 台 普通車両⇒普通自動車 1 1 台・軽自動車 2 台・貨物 1 0 台		

沼 津 市 ハザード マ ッ プ	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海拔	液状化危険度
	6弱	愛鷹小学校	4.5m	14.4m	120m	無
	河川の増水	土砂災害の状況	津波避難訓練	津波浸水層 30 cm 時間		
	無	無	外側	無		

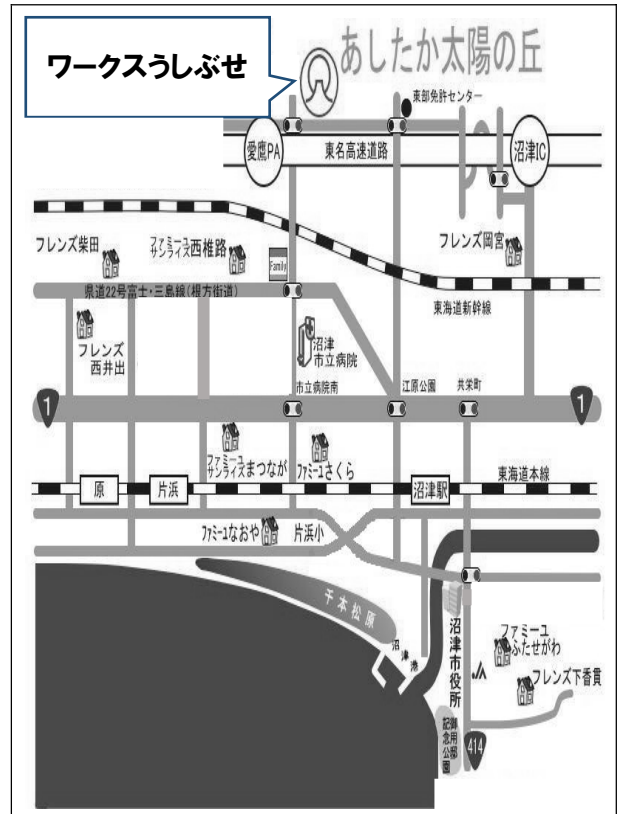
【推定津波高】片浜海岸 沼津市の北部に位置するため津波については心配ないと思われる

【海岸・河川堤防高】片浜海岸

沼 津 市 地 震 津 波 対 策	救護所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
	愛鷹中学校	沼津市立病院	沼津西病院	沼津市立病院	愛鷹中学校
	966-4229	924-5100	966-1181	924-5100	966-4229

22 ワークスうしぶせ

(福祉避難所指定 580)



【交通アクセス】 JR沼津駅 富士急行根方線 太陽の丘バス停 徒歩 1 分

【施設概要】 障害者支援施設

ワークスうしぶせは、昭和 56 年 4 月に開所され、平成 24 年に現在の建物に改築しました。業務内容は、施設入所支援、就労移行支援、就労継続支援 B 型、短期入所事業を提供しています。作業では、施設内作業場での各種組立作業のほか、近隣のプラスチック成形会社へ出向いての組み付け・加工作業、特別養護老人ホームでの清掃業務やヘルパー業務補助を行っています。当施設は沼津市の北部に位置する愛鷹山の中腹に位置し、駿河湾や大瀬崎の景観が望めます。近くには、東名高速道路愛鷹 P A やニューウェルサンピア、愛鷹運動公園があります。また、施設から約 3.5 km 下ったところに沼津市立病院があり、当法人のグラウンドはドクターヘリのヘリポートして活用されています。

【災害時の対応・訓練状況等】

防災訓練は、火災及び地震を想定し、毎月計画的に実施しています。また、年 2 回の総合防災訓練を、9 月及び 11 月に実施しています。

震度 5 強以上の地震が沼津市で観測された際には、全職員が施設へ出勤することとしています。

住 所	沼津市宮本5-2	メ ー ル	ushibuse@a-taiyou.jp
電 話	923-7908	防災無線	580 (法人本部内に設置)
F A X	923-7818	消 防 団	愛鷹方面隊 26~28分団
運営主体	(福) あしたか太陽の丘	消 防 署	西分署 924-0119
事業内容	施設入所支援 (定員40人)・就労移行支援 (定員30人) 就労継続支援B型 (定員10人)・短期入所事業 (定員2人)		
職種内容	事務員、サービス管理責任者、支援員、看護師 (職員合計19名)		
災害時受 入れ状況	避難者の受け入れについては、作業訓練室、多目的室を開放して最大30人ほどの受け入れが可能とされていますが、それに伴う職員配置について課題があります。		
備 蓄 品 500人分	飲料水 (1日1人1.5ℓ×4日分)・クラッカー (1日1食×3食分)・主菜缶詰 (1日1食×3食分)・パン (1日1食×2食分) フリーズドライごはん (7食分)・アルファ米 (3食分) アルファ米用水 (270ℓ) ※法人全体で500人分を5日分備蓄		
車両関係	特殊車両⇒車椅子対応5台・マイクロバス1台 普通車両⇒普通自動車11台・軽自動車2台・貨物10台		

沼津市 ハザード マップ	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海拔	液状化危険度
	6弱	愛鷹小学校	4.5m	14.4m	120m	無
	河川の増水	土砂災害の状況	津波避難訓練	津波浸水層 30cm 時間		
	無	無	外側	無		

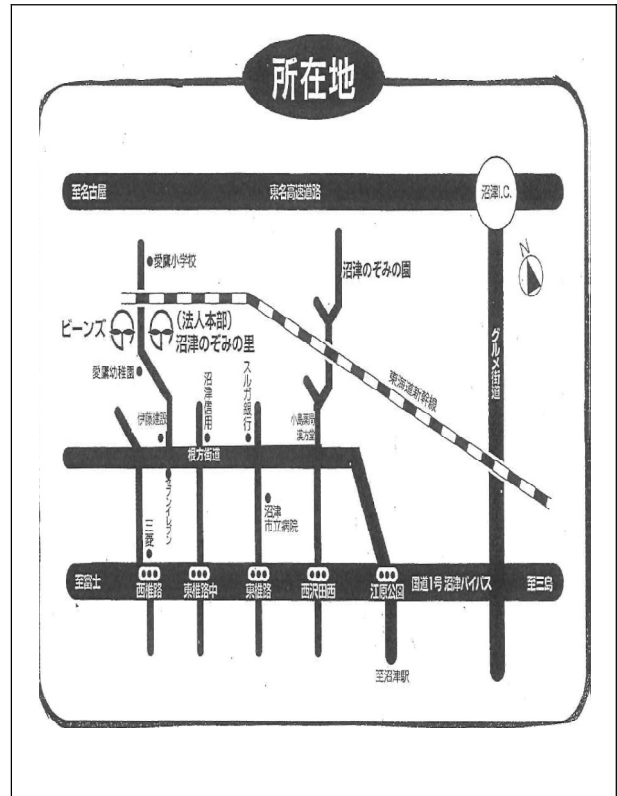
【推定津波高】片浜海岸 沼津市の北部に位置するため津波については心配ない海岸から6km

【海岸・河川堤防高】片浜海岸

沼津市 地震津 波対策	救護所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
	愛鷹中学校	沼津市立病院	沼津西病院	沼津市立病院	愛鷹中学校
	966-4229	924-5100	966-1181	924-5100	966-4229

23 沼津のぞみの里

(福祉避難所指定 587)



【交通アクセス】 JR沼津駅より富士急行根方線 西椎路バス停 徒歩 10分

JR片浜駅より富士急行ミューバス 片浜駅循環 西椎路バス停 徒歩 10分

【施設概要】 障害者支援施設

沼津のぞみの里は平成9年に開所。あしたか地区（西椎路）の高台にあり、JR片浜駅から北へ1.6km・すぐ北には新幹線が通っています。避難所の愛鷹小学校は道なり北へ約200mに位置します。施設向かいには同法人ビーンズがあります。業務内容は、障害者の施設入所支援、生活介護事業を行っています。

【災害時の対応・訓練状況

防災訓練は毎月計画的に実施、入居者の日中、夜間帯を想定した避難訓練、情報伝達訓練、消化訓練を実施。年2回沼津市総合防災訓練、福祉施設防災訓練時に総合防災訓練を実施しています。夜間帯においては少ない職員数の中どのように避難していくのかの難しさを感じています。避難訓練は月1回実施しています。情報伝達訓練は連絡を受けた時点で職員は実際施設に集合することも年1度訓練として取り入れています。

住 所	沼津市西椎路659-2	メ ー ル	sato@kiboukai.or.jp
電 話	969-0211	防災無線	587
F A X	969-0212	消 防 団	愛鷹方面隊 27分団
運営主体	(福)輝望会	消 防 署	西分署 924-0119
事業内容	障害者支援施設（入居者50名）・ショートステイ5名		
職種内容	生活支援員・生活支援員（パート）・看護師・栄養士・調理員・事務員 （職員合計41人）		
災害時受 入れ状況	避難者の受け入れについて。10名ほど可能と思われるが、それに伴う職員配置については課題があります。		
備 蓄 品 70人分	アルファーマイ・副食（1日3食×3日分）・飲み水（1日1人3ℓ×3日分）		
車両関係	特殊車両⇒車椅子対応1台・マイクロバス1台 普通車両⇒普通自動車2台・軽自動車2台		

沼 津 市 ハザード マ ッ プ	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海拔	液状化危険度
	6弱	愛鷹小学校	4.3m	17m	18m	無
	河川の増水	土砂災害の状況		津波避難訓練	津波浸水層 30 cm 時間	
	無	無		外側	無	

【河川の増水】大雨の時、国1バイパスと根方街道の南北の道路は水没し通行できないおそれ。

【海岸・河川堤防高】片浜海岸想定

沼 津 市 地 震 津 波 対 策	救護所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
	愛鷹中学校 966-4229	沼津市立病院 924-5100	沼津西病院 966-1181	沼津市立病院 924-5100	愛鷹小学校 966-4244

24 沼津のぞみの園

(福祉避難所指定 588)



【交通アクセス】 JR沼津駅より富士急行根方線 西沢田バス停 徒歩 10分
JR片浜駅よりタクシー

【施設概要】 生活介護事業所（知的障害者通所施設）

沼津のぞみの園は昭和49年に小規模授産所として設立され、昭和59年に通所更生施設（現：生活介護事業所）となる。場所は沼津市北西部の西沢田地区の住宅街の一角にあり、日中活動や行事の際には近隣住民の方々と触れ合う機会も多い。業務内容は、知的障害者の生活介護事業所（通所）であり、定員60名。開所日は基本的に平日であるが、土曜・祝日も地域生活支援事業（日中見守り）として開所している。日中活動の内容は、散歩・缶つぶし・自主製品作り（ビーズ製品、メモ帳、雑巾、リサイクルいす など）・畑作業などを行なっている他、夏季はプール活動も行なっている。また、季節に合わせた行事もほぼ毎月行なっている。

【災害時の対応・訓練状況等】

防災訓練は毎月実施され、大きく「地震想定」と「火災想定」に分けられる。主に、利用者の避難訓練や待機訓練、情報伝達訓練などを行なっている。毎年9月1日には総合防災訓練として、避難訓練の他にも炊き出し訓練や消火訓練、起震車・煙ハウス体験、利用者の防災への啓発として災害関係のDVD鑑賞などを行なっている。また、11月の「社会福祉施設防災の日」の訓練として、利用者・職員全員で近くの日吉神社まで徒歩で避難する訓練も行なっている。

災害時の対応としては、送迎時・活動時・その他日常時など様々な場面を想定して訓練を行なっており、施設の防災計画に沿って対応することになっている。

職員の動きとして、震度6弱以上の地震が起きた際は、開所時は施設長の指示があるまで勤務を続けること。休日時は、主任者以上は事業所に急行することとなっている。

住 所	沼津市西沢田1040-1	メ ー ル	sono@kiboukai.or.jp
電 話	921-5320	防災無線	588
F A X	921-5329	消 防 団	金岡方面隊 25分団
運営主体	(福)輝望会	消 防 署	北消防署 923-0119
事業内容	① 通所による日中活動支援（利用者60名） ② 地域生活支援事業（日中預かり）		
職種内容	サービス管理責任者・生活支援員（正規）・生活支援員（パート）・事務員・調理員・ 看護師（火のみ）・運転手 （職員合計 26名）		
災害時受 入れ状況	避難者の受け入れについては食堂などで23名ほど可能ではあるが、避難者に対応できる 職員がどれくらい確保出来るかがまだ不明確である。		
備 蓄 品 70人分	飲み水（1.5ℓ×23） レトルトご飯（白飯50食×8、五目50食×6、わかめ50食×2、カレー50食×2） けんちん汁100人分×3、豚汁100人分×3 小型発電機1台（ガスボンベ式） ※不足分は随時購入予定		
車両関係	特殊車両⇒普通自動車1台（一部座席電動リフト式） 普通車両⇒マイクロバス2台・普通自動車4台・軽自動車1台・軽トラック1台 （併設のGH事業所用：軽自動車2台あり。うち1台は助手席電動リフト式）		

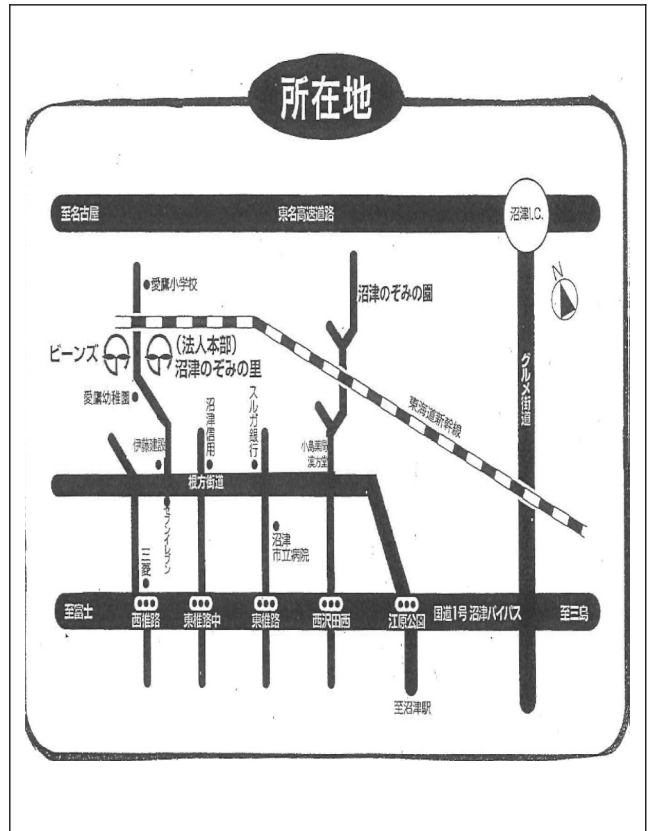
沼津市 ハザード マップ	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海拔	液化化危険度
	6弱	沢田小学校	4.5m	14.4m	40.9m	無
	河川の増水	土砂災害の状況	津波避難訓練	津波浸水層 30cm 時間		
	無	無	外側	無		

【推定津波高】片浜海岸を記入、片浜海岸より6km離れ、沼津市の北部に位置するため津波については心配ないと思われる

沼津市 地震津 波対策	救護所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
	金岡地区センター 924-5070	沼津市立病院 924-5100	べっく医院 921-1300	沼津市立病院 924-5100	沢田小学校 924-0161

25 ビーンズ

(福祉避難所指定 589)



【交通アクセス】 JR沼津駅より富士急行①②番線根方街道経由 吉原中央駅・船津・原駅・東平沼行きなどに乗車「西椎路 (にしいいじ)」バス停下車 徒歩 10 分

【施設概要】 生活介護事業所 ビーンズ

ビーンズは平成15年に開所。愛鷹地区（西椎路）の高台にあり、JR片浜駅から北へ1.6km・すぐ北には新幹線が通っています。避難所の愛鷹小学校は道なり北へ約200mに位置します。施設向かいには同法人沼津のぞみの里があります。事業としては、通所による生活介護事業（日中活動支援）、地域生活支援事業（見守り支援）を行っています。

【災害時の対応・訓練状況】

防災訓練は毎月計画的に実施、通所者の日中を想定した避難訓練を実施、年2回沼津市総合防災訓練、福祉施設防災訓練時に総合防災訓練、情報伝達訓練（一斉メール送信）を実施しています。避難訓練は月1回実施しています。

住 所	沼津市西椎路 813-6	メー ル	beans@kiboukai.or.jp
電 話	969-2190	防災無線	589
F A X	969-2191	消 防 団	愛鷹方面隊 27分団
運営主体	(福)輝望会	消 防 署	西分署 924-0119
事業内容	生活介護事業所（通所者27名）		
職種内容	生活支援員・生活支援員（パート）・調理員・事務員 （職員合計16人）		
災害時受 入れ状況	避難者の受け入れについて。5名程可能と思われるが、それに伴う職員配置については課題があります。		
備 蓄 品 45人分	飲み水（1日1人3.5ℓ×3日分）食料品（1日3食×3日分）米類（1日3食×3日分） 貿易トイレ2台 カセットボンベ発電機1台 災害時用毛布70枚		
車両関係	特殊車両⇒ 普通車両⇒普通自動車4台・軽自動車1台		

沼 津 市	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海拔	液状化危険度
ハザード	6弱	愛鷹小学校	4.3m	17m	18m	無
マ ッ プ	河川の増水	土砂災害の状況	津波避難訓練	津波浸水層 30 cm 時間		
	無	無	外側	無		

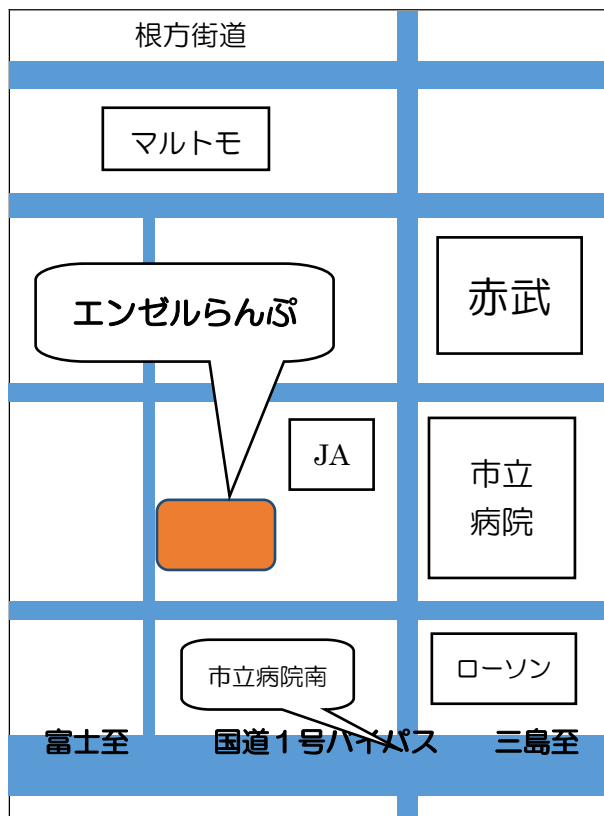
【河川の増水】大雨の時、国1バイパスと根方街道の南北の道路は水没し通行できないおそれあり

【海岸・河川堤防高】片浜海岸を想定

沼 津 市	救護所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
地震津 波対策	愛鷹中学校 966-4229	沼津市立病院 924-5100	沼津西病院 966-1181	沼津市立病院 924-5100	愛鷹小学校 966-4244

26 エンゼルらんぷ

(福祉避難所指定 無)



【交通アクセス】 JR沼津駅より富士急行根方線 市立病院前バス停 徒歩3分
JR片浜駅よりミューバス 市立病院前バス停 徒歩3分

【施設概要】 就労継続支援B型・生活介護事業所

「エンゼルらんぷ」は平成22年4月に就労継続B型事業所として開所され、平成26年度からは生活介護事業との多機能型事業所として運営を行っている。

場所は沼津市立病院（東椎路）西へ200mほどの位置にあり、周りは水田に囲まれている。

業務内容は主に知的障がいのある方に対して、就労又は生産活動の機会の提供、その他の就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行っている。

災害拠点病院であり、ヘリポートもある沼津市立病院へは「エンゼルらんぷ」から徒歩3分（約200m）の位置にある。

【災害時の対応・訓練状況等】

防災訓練は、防災担当者を中心に毎月1回、火災や地震発生を想定した訓練を実施している。毎年9月に総合防災訓練、11月に福祉施設防災訓練も実施しているが、歩行に支援が必要な方や目が不自由な方など、一部の利用者の方は避難が難しいと考えられる。

震度5以上の地震発生時には、利用者(ご家族)と各職員の安否確認を携帯電話・固定電話で行うと共に、正規職員は施設に集合することになっているが、実際は連絡が取り合えるのかどうか、まだまだ課題が残っているのが現状である。

住 所	沼津市東椎路682	メ ー ル	lamp@kiboukai.or.jp
電 話	929-8730	防災無線	無
F A X	929-8731	消 防 団	愛鷹方面隊 26分団
運営主体	(福)輝望会	消 防 署	西分署 924-0119
事業内容	就労継続支援B型事業(定員10名) 生活介護事業(定員10名)		
職種内容	管理者・サービス管理責任者・生活支援員・生活支援員(パート)・職業指導員 目標工賃達成指導員・事務員 (職員合計10人)		
災害時受 入れ状況	避難者の受け入れは、施設内の活動室等で5人程度が上限と考えられるが、夜間の対応については、職員配置や寝具・備蓄品の不足等、課題がある。		
備 蓄 品	飲み水(500ml×48)・アルファ米(1食×50)		
車両関係	特殊車両→なし 普通車両→3台(ワゴン車2台・軽自動車1台)		

沼 津 市 ハザード マ ッ プ	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海拔	液化化危険度
	5強	片浜小学校	4.5m	14.4m	7.7m	無
	河川の増水	土砂災害の状況		津波避難訓練	津波浸水層30cm時間	
	無	無		外側	無	

【推定津波高】片浜海岸

【海岸・河川堤防高】片浜海岸

沼 津 市 地 震 津 波 対 策	救護所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
	片浜地区センター 964-0926	沼津市立病院 924-5100	沼津西病院 966-1181	沼津市立病院 924-5100	片浜小学校 962-0357

27 いずみ

(福祉避難所指定 590)



【交通アクセス】 JR沼津駅より東海バス大平線（6番乗り場） 小山バス停 徒歩5分

【施設概要】生活介護事業所

「いずみ」は、平成17年4月に開所され、沼津市大平地区（旧大平村）にあり、西は、横山トンネルで沼津市香貫と繋がり、（途中に駿東郡清水町徳倉がある）いわゆる飛び地となっている。南は大平山、西は狩野川の堤防があり、北には、田畑と堤防の向こうには雄大な富士山が望める。

日中活動では、沼津市内や狩野川の東側（伊豆の国市・清水町・函南町）の公園などに出かけている。

防災ヘリポート（沼津市立大平中学校）は、距離約1.5km。避難地＝避難所（沼津市立大平小学校）には徒歩3分（距離約200m）である。

現在、利用者は39人（沼津市内・清水町・函南町・伊豆の国市・熱海市・三島市）、ほとんどの方は、公用車（4台）による送迎利用である。

【災害時の対応・訓練状況等】

防災訓練は、防災担当を中心に、1回/月、火災や地震発生を想定した訓練を実施している。

突発的な地震発生時には、液状化が懸念されており、歩行に支援が必要な方や、目が不自由な方、車椅子の方など、利用者の多くは避難が難しいと考えられる。

震度5以上の地震発生時は、利用者（ご家族）と各職員の安否確認を携帯電話・固定電話で行なうと共に、正規職員は施設に集合することになっているが、実際は連絡が取り合えるのか不安が残っている。

住 所	沼津市大平 2224-1 (第6区)	メ ー ル	izumi@kiboukai.or.jp
電 話	935-1030	防災無線	590
F A X	935-1035	消 防 団	大平方面隊 30分団
運営主体	(福)輝望会	消 防 署	大平分遣所 933-0119
事業内容	生活介護事業所(定員40人) 日中活動支援事業(見守り支援型)		
職種内容	管理者・サービス管理責任者・生活支援員・生活支援員(パート)・調理員(パート)・ 運転手(パート)・事務員(パート) (職員合計 18人)		
災害時受 入れ状況	避難者の受入れは、施設内の活動室等で5人程度が上限と考えられるが、夜間の対応に ついては、職員配置や寝具・備蓄食品の不足等、課題がある。 また、大平地区は地震の際の液状化が懸念されているため、避難や移動に課題がある。		
備 蓄 品	飲み水(3ℓ/人日×5日分)・アルファ米(2食/人日×5日分) 発電機(カセットガス式)1台(無線機など情報収集用)・デジタル地域防災無線機(1) 簡易トイレ(5セット)箱型 *非常食品は現在、購入注文中。		
車両関係	特殊車両⇒リフト付きワンボックス(10人乗り) 1台 普通車両⇒ワンボックス(10人乗り)2台・ワンボックス(14人乗り)1台・ 軽乗用 1台 (車両合計 5台)		

沼津市 ハザード マップ	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海拔	液状化危険度
	5強	大平小学校	無	無	8.8m	中
	河川の増水	土砂災害の状況	津波避難訓練	津波浸水層 30cm 時間		
	浸水深2~5m未満区域	無	外側	無		

- 【河川の増水】 ・事業所より西方 約300mあたりに、南北に流れる「江川」があるが、通常の
台風の雨量でも増水・氾濫し、事業所から西方(沼津市街地)には通行止めにな
ることがある
・東方の狩野川については、台風(豪雨)で増水はするものの、氾濫するまでには
至っていない

【推定津波高】【海岸・河川堤防高】記録なし

沼津市 地震津 波対策	救護所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
	大平地区センター 868-1322	聖隷沼津病院 952-1000	勝呂医院 962-3083	静岡医療センター 975-2000	大平中学校 931-5021

28 ミルキーウェイ

(福祉避難所指定 590)



【交通アクセス】

沼津駅より沼津登山東海バス 我入道循環線 沼津リハビリテーション病院前バス停 徒歩 3分

【施設概要】 生活介護事業所

ミルキーウェイは重症心身障害児（者）の受け入れを主とした生活介護事業所として、平成23年4月に開所いたしました。

沼津市我入道の静かな松林内に建物はあり、近くには我入道海岸、狩野川河口、牛臥山公園、芹沢記念館などがあります。

現在は生活介護事業、児童発達支援事業、放課後等デイサービスを中心に行っております。

【災害時の対応・訓練状況等】

沼津市のハザードマップによると建物は津波浸水域にあり、大規模地震発生時には早急な避難が必要になります。利用されている方は、ほぼ全員が車椅子を使用しており、且つ自力避難が出来ません。緊急時には5台ある公用車に全員乗車して避難する計画です。(車両を使用するの避難には賛否両論ございますが、利用者数が職員数を上回っている現状では致し方ないと思っています。)

訓練に関しては、自ら身を守る事が難しい利用者様の身体の安全を確保する事、火災、地震（津波）を問わず、いち早く安全な場所へ移動（避難）する事に主眼を置いています。具体的には、地震発生と共に利用者様と自身の身を守り、揺れが収まったと同時に避難車両へ全員乗車する訓練を実施しています。地震後は道路の使用が出来ない事も想定し、近隣の津波避難ビルの周知等も行っています。

住 所	沼津市我入道蔓陀ヶ原 509-2	メ ー ル	milky@kiboukai.or.jp
電 話	934-7770	防災無線	590
F A X	934-7771	消 防 団	香貴方面隊 5分団
運営主体	(福)輝望会	消 防 署	南消防署 934-0119
事業内容	生活介護事業（定員20名） 児童発達支援事業・放課後等デイサービス（合わせて5名）		
職種内容	施設長・サービス管理責任者・支援員・看護師・理学療法士・事務員・栄養士・調理員・ 運転手 （職員合計 20名）		
災害時受 入れ状況	津波浸水域の為、受け入れ等は考えていません。		
備 蓄 品 40人分	飲料水・備蓄食料（常食・刻み食・ミキサー食）・小型発電機		
車両関係	特殊車両⇒車椅子対応4台（普通車3台・軽自動車1台） 普通車両⇒ワンボックスタイプ1台		

	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海拔	液状化危険度
沼 津 市 ハザード マ ッ プ	6弱	我入道コミュニティ 防災センター	6.6m	7.8m	2.5m	小
	河川の増水	土砂災害の状況	津波避難訓練	津波浸水層 30 cm 時間		
	無	無	内側	15分		

【推定津波高】牛臥海岸

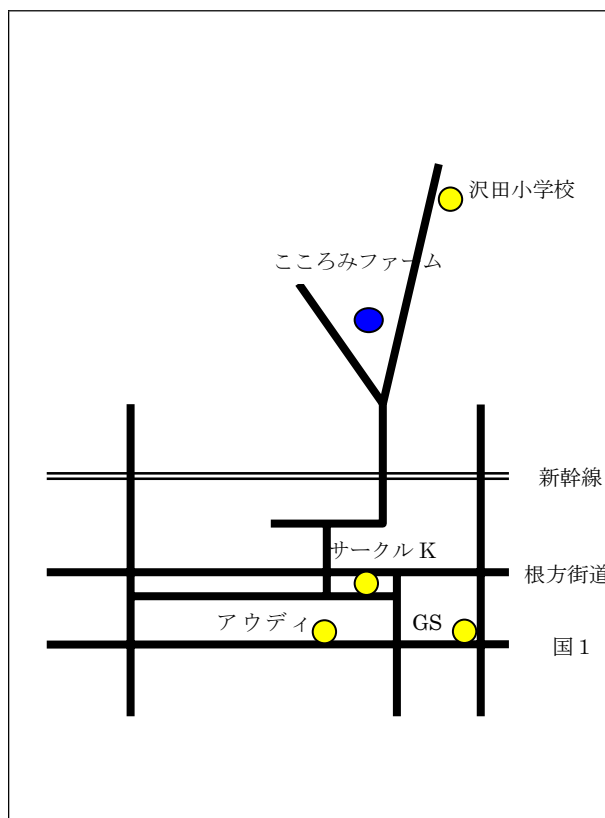
【海岸・河川堤防高】牛臥海岸

施設の海拔は2.5mと低く、避難路は海拔1.5mとなお低い津波浸水層2m～4mと推定される
牛臥山が海拔50.5mある

沼 津 市	救護所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
地 震 津 波 対 策	第三地区センター 934-8003	沼津リハビリテーション病院 931-1911	香貴医院 931-2465	沼津市立病院 924-5100	第三小学校 931-0353

29 こころみファーム

(福祉避難所指定 無)



【交通アクセス】 JR沼津駅より富士急行根方線等 中沢田バス停下車 徒歩10分

【施設概要】 障害者就労継続B型事業所

こころみファームは平成26年7月に開所しました。沢田小学校の西側に位置し、市街地から近い上に自然に囲まれた立地です。避難所の沢田小学校から直線で100mほどにあります。

業務内容は農業を活動とした就労系の事業所です。障害を持った方々が野菜の栽培や販売等を行っています。

また、そのため井戸を所有しており、さらに市の水源地に隣接しているため、災害時の水の確保が可能と想定しています。

【災害時の対応・訓練状況等】

防災訓練は基本的に毎月1回実施、利用されている方々の避難訓練、消化訓練、炊き出し等を実施しております。また、年2回の9月の総合防災、11月の福祉施設総合防災に合わせて1日または半日の防災訓練を実施しております。

沼津市との防災無線の設置事業所にはなっておりません。

災害時には、開所時（平日8:15～16:45）においては震度6弱以上（状況による）で被災想定勤務体制になります。

住 所	沼津市中沢田字円丸734-3	メ ー ル	kokoromifarm@kiboukai.or.jp
電 話	955-7077	防災無線	無
F A X	955-7078	消 防 団	金岡方面隊 25分団
運営主体	(福)あしたか太陽の丘	消 防 署	北消防署 923-0119
事業内容	障害者就労継続支援B型事業所(定員20名)		
職種内容	支援員・事務員 (職員合計 6名)		
災害時受 入れ状況	開所時間帯での避難者受け入れは可能。生産物・備蓄品の提供。		
備 蓄 品 20人分	(飲み水(井戸水)・生産物(野菜等)・米20kg)		
車両関係	特殊車両→車椅子対応1台 普通車両→普通貨物1台・軽自動車1台・軽トラック1台		

沼 津 市	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海拔	液化化危険度
ハザード マップ	6弱	沢田小学校	4.5m	12.5m	25.2m	無
	河川の増水	土砂災害の状況	津波避難訓練	津波浸水層30cm時間		
	無	無	外側	無		

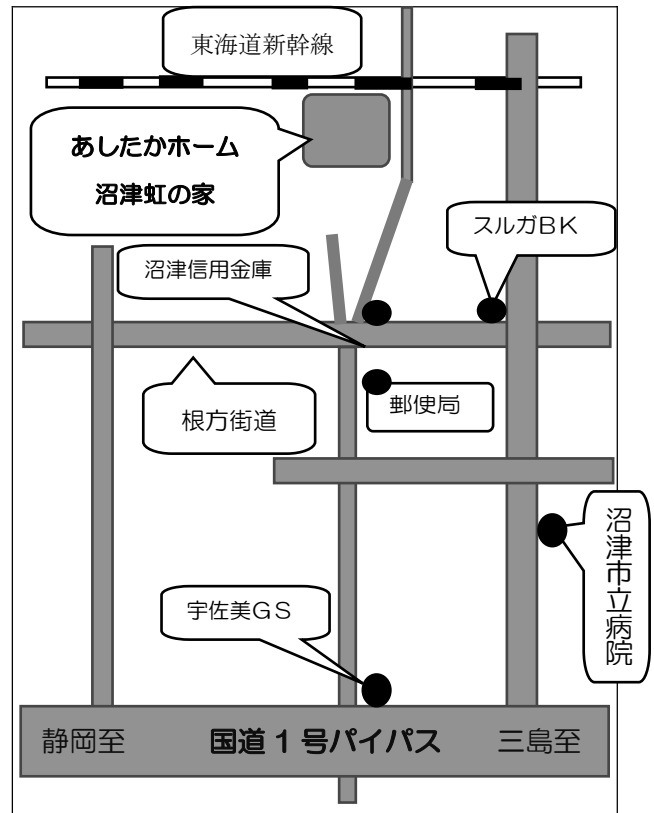
【海岸・河川堤防高】片浜海岸記入

【河川の増水】 片浜海岸記入

沼 津 市	救護所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
地 震 津 波 対 策	金岡地区センター 924-5070	沼津市立病院 924-5100	沼津整形外科病院 921-3791	沼津市立病院 924-5100	沢田小学校 924-0161

30 沼津虹の家

(福祉避難所指定 576)



【交通アクセス】 沼津駅より富士急バス2番線「あしたか団地入口」下車徒歩3分
JR片浜駅より片浜循環ミュースバス「あしたか団地入口」下車徒歩3分

【施設概要】 生活介護事業所

平成23年10月にあしたかホームの移転新築に併せて市内志下より移転し、あしたかホーム内に合築されました。今年で開設24目を迎えます。新しい施設となり、障害のある方の居場所作りに重点を置き、様々な障害を持った方々の自立に向けた支援と介護者の支援を心掛け、生活介護事業を中心に日中一時見守り支援事業、ライフサポート事業（沼津市委託事業）を展開し、365日24時間切れ目のないサービス提供を行っています。

【災害時の対応・訓練状況等】

防災訓練は年間計画に基づき毎月実施しています。情報伝達訓練、消防署への通報訓練、避難誘導訓練、消火訓練を実施し、総合防災訓練として年3回実施し、その内2回消防署立会の訓練を実施しています。地域との防災連携として、自治会の防災訓練への協力・参加をしています。実際の災害時の協力体制や、大規模災害時の場合の事業継続や早期復旧を可能とする方法・手段においても不安があります。

震度5以上の地震等の災害が予知された際、及び災害後は、自宅等の安全確認・調整等をおこない、第一次配備職員が直ちに施設に向かうこととしています

住 所	沼津市東椎路1742-1	メ ー ル	ashitaka@mail.wbs.ne.jp
電 話	967-2220	防災無線	576
F A X	967-3566	消 防 団	愛鷹方面隊 26分団
運営主体	(福)春風会	消 防 署	西分署 924-0119
事業内容	生活介護事業（利用定員25人） 沼津市日中一時見守り支援事業（委託事業） 沼津市ライフサポート事業（委託事業）		
職種内容	管理者・サービス管理責任者・生活支援員・看護師・運転手（職員合計 18人）		
災害時受入れ状況	避難者の受入れについては、あしたかホームに準ずる		
備蓄品 100人分	飲み水（1日1人2ℓ×6日分）・レトルト食品と缶詰（1日3食×6日分） 米常備150kg・160人分が6日間 自家発電連続運転時間 13時間 小型発電機 3台（あしたかホームに準ずる）		
車両関係	リフト付き送迎車（車椅子1名対応1台・車椅子2名対応1台・車椅子3名対応1台） 普通自動車1台（ワゴン車）		

沼津市 ハザード マップ	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海拔	液状化危険度
	6弱	愛鷹中学校	4.5m	14.4m	23m	無
	河川の増水	土砂災害の状況		津波避難訓練	津波浸水層 30 cm 時間	
	無	無		外側	無	

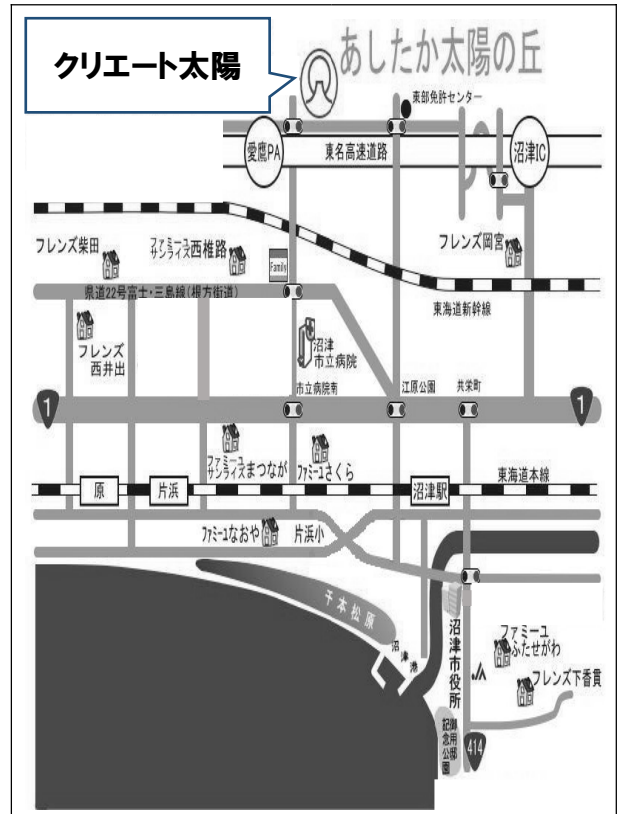
【推定津波高】片浜海岸

【海岸・河川堤防高】片浜海岸

沼津市 地震津 波対策	救護所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
	愛鷹中学校 966-4229	沼津市立病院 924-5100	沼津西病院 966-1181	沼津市立病院 924-5100	愛鷹小学校 966-4244

31 クリエイト太陽

(福祉避難所指定 無)



【交通アクセス】 JR沼津駅より富士急行根方線 あしたか太陽の丘本館前バス停 徒歩 1 分

【施設概要】 障害福祉サービス事業所

クリエート太陽は平成 16 年 4 月に創設した太陽の丘初めての通所施設です。

業務内容は、生活介護、就労継続支援 B 型事業のサービスを提供しています。生産活動を中心とし、近隣の檜の間伐材を利用した木工作業（椅子・テーブル・鉛筆立て・ラック・キーハンガー・石鹸箱など）、マドレーヌ製造、販売及び洗車作業を行っており、一般の方の車も請け負っております。

当施設は沼津市の北部に位置する愛鷹山の中腹に位置し、駿河湾や大瀬崎の景観が望めます。近くには、東名高速道路愛鷹PAやニューウェルサンピア、愛鷹運動公園があります。また、施設から約 3.5 km 下ったところに沼津市立病院があり、当法人のグラウンドはドクターヘリのヘリポートして活用されています。

【災害時の対応・訓練状況等】

防災訓練は、火災及び地震を想定し、毎月計画的に実施しています。また、年 2 回の総合防災訓練を、9 月及び 11 月に実施しています。

震度 5 強以上の地震が沼津市で観測された際には、全職員が施設へ出勤することとしています。

住所	沼津市宮本5-2	メール	create@a-taiyou.jp
電話	923-7917	防災無線	580 (法人本部内に設置)
FAX	923-7870	消防団	愛鷹方面隊 26~28分団
運営主体	(福)あしたか太陽の丘	消防署	西分署 924-0119
事業内容	就労継続支援B型事業(定員18名)・生活介護型事業(定員12名)計30名 地域生活支援事業(活動支援型)		
職種内容	事務員、生活支援員、職業指導員、看護師 (職員合計8名)		
災害時受入れ状況	通所型施設のため、宿泊設備がないので受け入れは不可		
備蓄品 500人分	飲料水(1日1人1.5ℓ×4日分)・クラッカー(1日1食×3食分)・主菜缶詰(1日1食×3食分)・パン(1日1食×2食分)フリーズドライごはん(7食分)・アルファ米(3食分)アルファ米用水(270ℓ)※法人全体で500人分を5日分備蓄		
車両関係	特殊車両⇒車椅子対応5台・マイクロバス1台 普通車両⇒普通自動車11台・軽自動車2台・貨物10台		

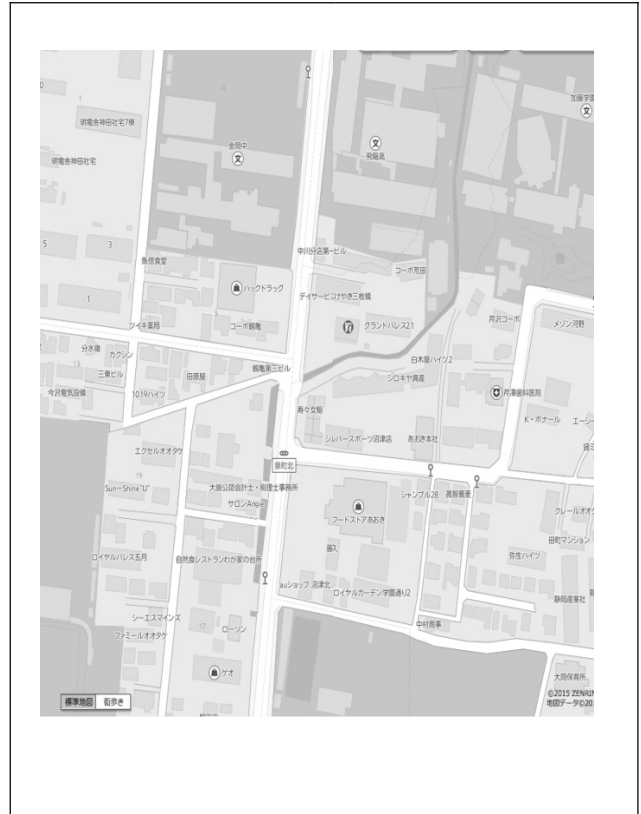
沼津市 ハザード マップ	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海拔	液化化危険度
	6弱	愛鷹小学校	4.5m	14.4m	120m	無
	河川の増水	土砂災害の状況	津波避難訓練	津波浸水層 30cm 時間		
	無	無	外側	無		

【海岸・河川堤防高】片浜海岸を記入、片浜海岸より6km離れている

沼津市 地震津 波対策	救護所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
	愛鷹中学校	沼津市立病院	沼津西病院	沼津市立病院	愛鷹中学校
	966-4229	924-5100	966-1181	924-5100	966-4229

32 ふれあいの苑

(福祉避難所指定 無)



【交通アクセス】 JR沼津駅より伊豆箱根 沼津学園前バス停 徒歩3分

【施設概要】 就労継続支援B型事業所

H5年7月沼津市手をつなぐ育成会が運営母体となる知的障がい者の通所施設小規模授産所「ふれあいの苑」を設立。通所者が20名を超え、H13年5月同様の施設「ふれんどワーク」設立。H19年4月法人化し現在のセンターとなる。

下請け作業、地場野菜の販売受注、みかん農家での収穫作業、リサイクル<古紙、新聞紙、アルミ缶等>の活動を行い、余暇支援ではイベント等の見学を企画し積極的に外出を行い日常の作業とは違った多くの体験をしたり、地域の事を知る機会を作り社会参加をする事を心掛けている。

【災害時の対応・訓練状況等】

年2回の定期訓練の他、民間の商業施設と合同で障がい者を想定して避難訓練を実施し安全に対する意識を高めている。

また出前講座の開催や自治会との避難訓練への参加を実施している。

住 所	沼津市三枚橋荒田 686-1	メ ー ル	fureaino_sono@pure.ocn.ne.jp
電 話	955-8988	防災無線	無
F A X	955-8988	消 防 団	中央方面隊 1分団
運営主体	(N)ぬまづ障がい者就労支援センター	消 防 署	北消防署 923-0119
事業内容	就労継続支援B事業所（通所者24名）		
職種内容	生活支援員 事務員 作業指導員		
災害時受 入れ状況	避難者の受け入れについては、20人ほど可能と思われるが、それに伴う職員配置については課題があります。		
備 蓄 品	飲み水（1日2ℓ×4ケース）レトルト食品 発電機2台 灯光器2台		
車両関係	普通車両⇒ワンボックス6人用、ハイエース14人乗り		

沼 津 市 ハザード マ ッ プ	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海拔	液状化危険度
	6弱	第五中学校	5m	9m	14.6m	無
	河川の増水	土砂災害の状況		津波避難訓練	津波浸水層 30cm 時間	
	無	無		外側	無	

【推定津波高】千本浜海岸記入 海岸から5km離れている

【海岸・河川堤防高】千本浜海岸記入

【河川の増水】JR沼津駅の東側三目ガードが大雨で通行不可

沼 津 市 地 震 津 波 対 策	救護所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
	金岡地区センター 924-5070	西島病院 922-8235	沼津整形外科 921-3791	沼津市立病院 924-5100	金岡小学校 921-1371

33 ふれんどワーク

(福祉避難所指定 無)



【交通アクセス】 JR沼津駅より伊豆箱根バス港循環線 ときわ保育所バス停 徒歩3分

【施設概要】 障害者福祉施設

「ふれんどワーク」は平成13年4月に創設され、後湾にほど近い千本の松に囲まれた閑静な住宅地にあります。現在、利用者さん14名・職員3名で、9時～16時まで作業を行っています。

作業内容は、健康食品の箱詰め・街路清掃・ダンボール折り・割り箸セット作り・機械部品ネジ留め・市ごみ袋や廃油石けんの販売・古紙や空き缶の回収などです。一人ひとりが「プロ」としての自覚を持って毎日作業に取り組んでいます。

作業だけでなく、保育所・小中学校・老人会・ご近所など自治会の皆様との交流を通して、地域の中でも社会人として生き生きと活動しています。

今後も一人ひとりを大切に、地域に根ざした、仲間同士で助け合える職場でありたいと思います。

【災害時の対応・訓練状況等】

防災訓練は年3回を基本とし、必要に応じて施設の内外で行っています。年3回の計画された訓練は利用者さん・保護者の皆さんにお知らせしますが、新しい利用者さんが入られたりした場合などは抜き打ちで避難訓練を実施しています。

立地上、地震による津波の被害が想定されますので、目下のところ少しでも避難ビルまでの避難時間短縮を目標に訓練しています。

住 所	沼津市千本1906-1	メ ー ル	friend-work@ka.tnc.ne.jp
電 話	952-2433	防災無線	無
F A X	952-2433	消 防 団	中央方面隊 2分団
運営主体	(N)ぬまづ障がい者就労支援センター	消 防 署	南消防署 934-0119
事業内容	障害者日中活動支援施設（就労継続支援B型） 利用者数 14名		
職種内容	生活支援員・職業指導員 （職員合計3名）		
災害時受入れ状況	現状不可		
備 蓄 品	飲料水・レトルト食品1日分×20名分		
車両関係	特殊車両→なし 普通車両→普通自動車2台・軽バン1台		

沼 津 市 ハザード マ ッ プ	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海拔	液状化危険度
	5強	沼津西高	5.0m	9.0m	3m	大
	河川の増水	土砂災害の状況		津波避難訓練	津波浸水層 30 cm 時間	
	1m~2m区域	なし		内側	20分	

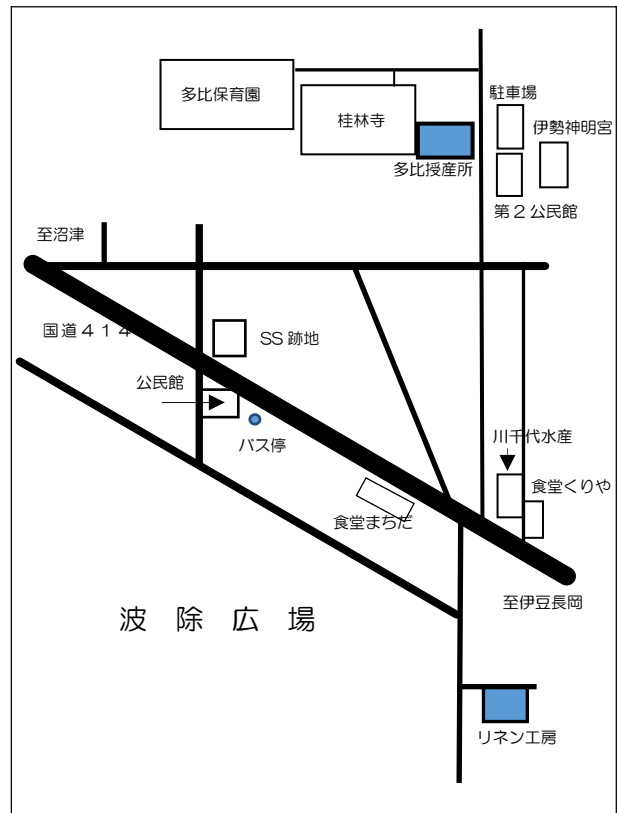
【海岸・河川堤防高】千本海岸より200メートル・津波高5.0メートル・堤防高9.0メートル
津波到達時間約7分

【河川の増水】狩野川河口に近いため、地震の際に津波との甚大な浸水被害が想定される

沼 津 市	救護所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
地 震 津 波 対 策	市民文化センター 932-6111	沼津聖隷病院 952-1000	田沢病院 962-1205	沼津市立病院 924-5100	千本小学校 962-0356

34-1 多比授産所

(福祉避難所指定 無)



【交通アクセス】 沼津駅より伊豆箱根鉄道線 多比バス停 徒歩5分

【施設概要】 就労継続支援B型事業所

施設建物は、なだらかな坂道の途中に位置し、その先後方にはみかん畑や緑濃い山々が、前方には江の浦湾の穏やかな海が広がっています。約2キロ沼津寄りには、沼津市静浦小中一貫校があります。建物内は2作業室、休憩室、保健室、2小部屋、トイレ・洗面所などに区切られています。利用者は現在15名。(施設建物は2か所あり) そのうち9名がこちらに通所しています。作業は、チラシ封入や箱折り、またプラスチック・レンズ製品の加工・組立等です。

【災害時の対応・訓練状況等】

避難所は、建物後面にある保育園(海拔19m)を第1次避難所、津波情報の大小によっては、坂道上方のみかん畑方面(海拔28m)に向かうことも考えています。

防災訓練は、9月防災の日に実施します。

利用者の中には、身体障がい者や歩行が早くできない者もいるため、常時勤務する職員2名でこれらに迅速に対応できるかが不安であり、大きな課題です。

これからは、あらゆる災害の状況を考慮して、それらに対応した職員の情報伝達訓練と避難訓練をしていきたいと思えます。

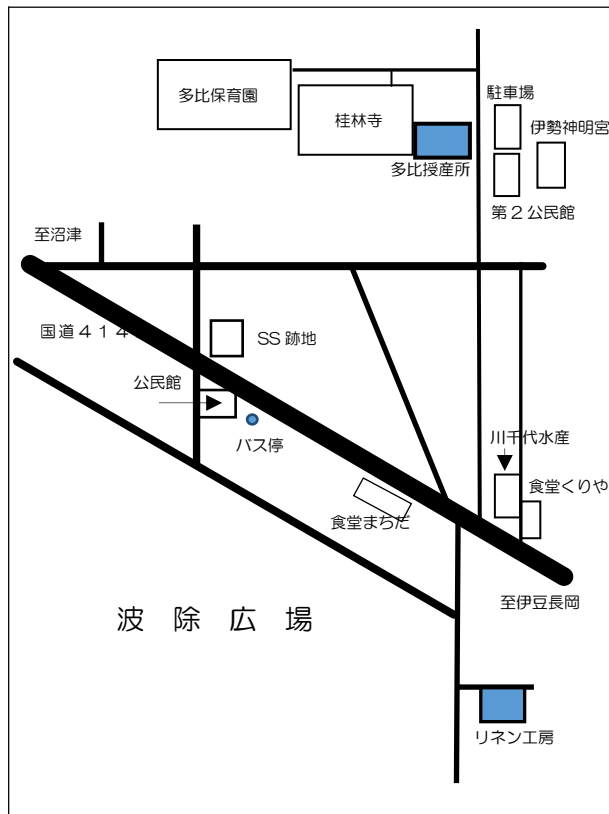
住 所	沼津市多比395	メ ー ル	syochou@keikakai.jp
電 話	939-1153	防災無線	無
F A X	939-1153	消 防 団	静浦方面隊 10分団
運営主体	(福)桂華会	消 防 署	静浦分遣所 932-8119
事業内容	就労継続支援B型事業		
職種内容	生活支援(1名) 職業支援(1名) その他補助職員(1名) 職員総数 3名		
災害時受入れ状況	なし		
備 蓄 品	なし		
車両関係	特殊車両⇒なし 普通車両⇒軽トラック1台		

沼 津 市 ハザード マ ッ プ	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海拔	液状化危険度
	6弱	旧静浦中学校	8m	7.7m	19m	無
	河川の増水	土砂災害の状況		津波避難訓練	津波浸水層 30cm 時間	
	津波4m~9m	警戒区域内		内側	15分	

【海岸・河川】津波の心配がある災害時には、建物が江の浦湾多比海岸まで400m、また、隣村の口野を流れる狩野川まで400mのため、迅速な避難が要求される。

沼 津 市 地 震 津 波 対 策	救護所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
	静浦地区センター 933-2510	沼津リハビリ 931-1911	香貫医院 931-2465	順天堂大学 静岡病院 948-3111	旧静浦東小学校

34-2 多比授産所（リネン工房）



【交通アクセス】 沼津駅より伊豆箱根鉄道線 多比バス停 徒歩3分

【施設概要】 就労継続支援B型事業所

施設建物は、裏手に小高い山を控え、80mほど離れた場所には穏やかな江の浦湾が広がっています。湾岸沿いには高さ8mの堤防が整備されています。リネン工房近くには波除広場があり、普段は老人会によるスポーツや子供たちの遊び場になっています。

当施設利用者も昼食後の散策を楽しんだり、おしゃべりに興じたりしています。

また、建物内は業務用洗濯機3台と乾燥機4台が設備されており、洗濯乾燥後は別室に用意されているテーブルにて洗濯物を畳みます。その後、ネット詰めや箱詰めをして配達します。

【災害時の対応・訓練状況等】

避難は、身体障がい者や早い歩行困難者、またパニック状態に陥ってしまう利用者も通所しているため、歩いて移動するより送迎用ワゴン車で移動をする方が迅速かつ安全だと考えます。

災害情報を耳にし次第、職員2名はワゴン車の運転準備にかかり、1名は工房内で6名の利用者とともにワゴン車到着を待ちます。

避難先は、工房から約1.5キロ先、海拔25mの「伊豆長岡スポーツワールド跡地」を予定しています。近くに海が広がっているため津波が襲ってくることを考えますと、確実な情報収集と迅速な行動ができるよう、避難訓練を実施していきたいと思っています。

住 所	沼津市多比 684-28	メ ー ル	syochou@keikakai.jp
電 話	939-1170	防災無線	無
F A X	939-1170	消 防 団	静浦方面隊 10分団
運営主体	(福)桂華会	消 防 署	静浦分遣所 932-8119
事業内容	就労継続支援 B 型		
職種内容	生活支援 (1名)、職業支援 (1名)、社会福祉主事 (1名) 職員総数 3名		
災害時受 入れ状況	なし		
備 蓄 品	なし		
車両関係	普通車両→ワゴン車 (8人乗り) 2台、荷物運搬用ワゴン車 1台		

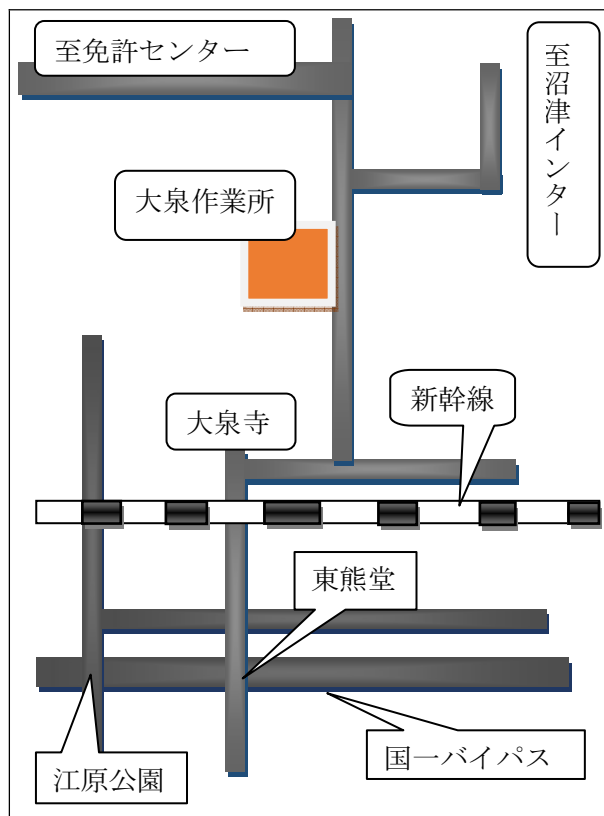
沼 津 市 ハザード マ ッ プ	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海拔	液状化危険度
	6弱	旧静浦中学校	8m	7.7m	1.9m	無
	河川の増水	土砂災害の状況		津波避難訓練	津波浸水層 30 cm 時間	
	津波 4m~9m	警戒区域内		内側	15分	

【海岸・河川】津波の心配がある災害時には、建物が江の浦湾多比海岸まで 80m、また、隣村の口野を流れる狩野川まで 400mのため、迅速な避難が要求される。

沼 津 市 地 震 津 波 対 策	救 護 所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
	静浦地区センター 933-2510	沼津リハビリ 931-1911	香貫医院 931-2465	順天堂大学 静岡病院 948-3111	旧静浦東小学校

35 プラサーザ大泉

(福祉避難所指定 無)



【交通アクセス】 JR沼津駅より富士急行線 高尾台、東部運転免許センター・愛鷹運動公園方面線
高尾台上降車 徒歩 1 分

【施設概要】 特定非営利活動法人プラサーザ大泉

プラサーザ大泉は、平成 11 年に創設、沼津市の北部に位置し、自然環境に恵まれた場所です。田方平野が一望でき、沼津市街から駿河湾、遠くに伊豆半島が展望できます。利用者定員 20 名の小規模授産所、現在 19 名の利用者サービス事業を展開。

【災害時の対応・訓練状況等】

防災訓練は年 4 回実施。

年度当初の訓練では、2 度の事前の訓練を本番は地震を想定した引取り訓練を実施します。

住 所	沼津市東熊堂舛土手234-3	メ ー ル	pdaisen@ma.tnc.ne.jp
電 話	925-8076	防災無線	無
F A X	925-8076	消 防 団	金岡方面隊 24分団
運営主体	(N) プラサーザ大泉	消 防 署	北消防署 923-0119
事業内容	就労継続B型作業所 下請作業・自主製品		
職種内容	職業指導員・生活支援員・事務職員（職員合計8人…パート含む）		
災害時受 入れ状況	なし		
備 蓄 品 25人分	飲料水(1日)1人2ℓ×5日分)・レトルト食品 アルファ化米		
車両関係	特殊車両⇒マイクロバス1台(車いす2台対応)、 普通車両⇒軽自動車1台		

沼 津 市 ハザード マ ッ プ	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海拔	液状化危険度
	6弱	金岡小学校	5.0m	10.8m	46.3m	無
	河川の増水	土砂災害の状況	津波避難訓練	津波浸水層30cm時間		
	無	無	外側	無		

【海岸・河川堤防高】千本海岸を想定、沼津インター近くにあり水害、津波の心配なし

沼 津 市 地 震 津 波 対 策	救護所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
	金岡地区センター 924-5070	沼津市立病院 924-5100	沼津整形外 921-3791	沼津市立病院 924-5100	沼津東高校 921-0341

36 ジョブネット原

(福祉避難所指定 無)



【交通アクセス】 JR原駅より富士急行東海大学、船津方面 原駅循環 西郵便局バス停 徒歩3分

【施設概要】 障害者支援施設

障害者の就労支援を行っています。(就労移行・就労継続B型・地域活動支援)

9時30分より15時30分の間、軽作業を中心に活動しています。

沼津市西部の原地区のバイパス沿いの町中にあり、ホームセンターや飲食店などがいくつか立ち並んでいます。又、春先には近くを流れる沼川沿いに咲く桜並木を散策することができます。

【災害時の対応・訓練状況等】

災害発生時の避難・施設利用者の一時預かり

各家庭までの送迎

住 所	沼津市原 1547-2	メ ー ル	Jobnet-hara@hb.tp1.jp
電 話	967-6576	防災無線	無
F A X	967-5676	消 防 団	原方面隊 32分団
運営主体	(N) ジョブネット原	消 防 署	原分遣所 967-0119
事業内容	障害者就労福祉センター 就労移行支援事業・就労継続支援事業・地域活動支援事業		
職種内容	ヘルパー2級 職員数 7名		
災害時受入れ状況	施設利用者のみ一時的な受け入れ		
備 蓄 品	なし		
車両関係	特殊車両⇒リフト車(助手席のみ)1台・車椅子対応1台 普通車両⇒箱型バン3台・軽トラック1台		

沼 津 市 ハザード マ ッ プ	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海拔	液状化危険度
	6弱	原小・原東小	4.6m	17m	3.5m	小
	河川の増水	土砂災害の状況		津波避難訓練	津波浸水層 30 cm 時間	
	浸水深 0.5m~1m	無		外側	無	

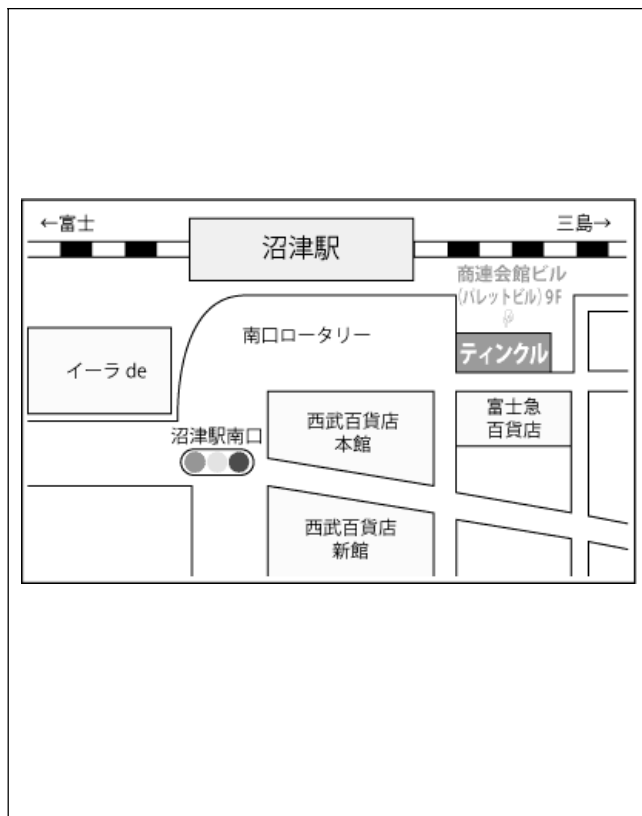
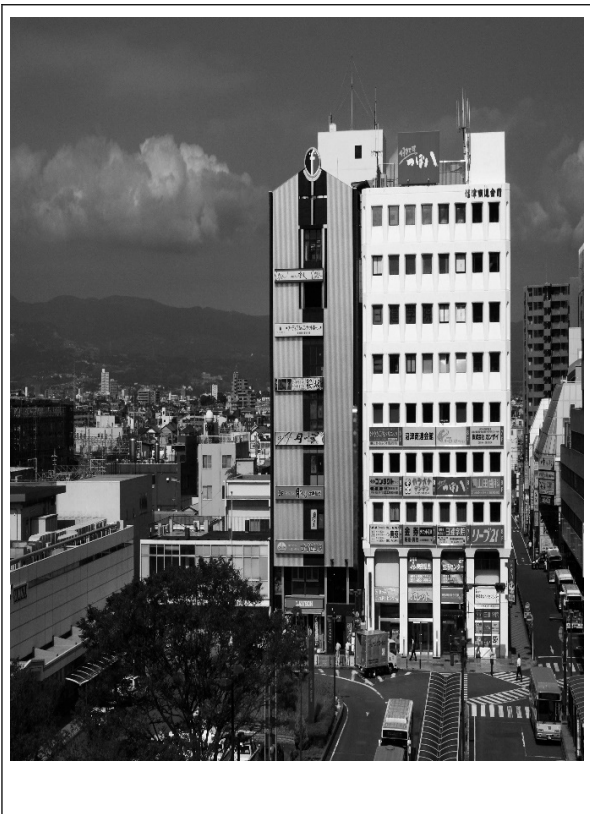
【海岸・河川堤防高】原海岸記入 国道1号バイパス超えてすぐ

【河川の増水】 大雨時は、バイパスより南北に延びる道に冠水することが多い

沼 津 市	救護所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
地 震 津 波 対 策	原小学校 966-0034	沼津市立病院 924-5100	沼津西病院 966-1181	沼津市立病院 924-5100	原小学校 966-0034

37 フラザティンクル

(福祉避難所指定 無)



【交通アクセス】 JR沼津駅より富士急行 バス停「沼津駅前」

【施設概要】 心身障害者福祉施設

プラザティンクルは平成 17 年に沼津駅前にある商連会館ビル 9F に設営された障害者にむけた福祉サービス（就労継続支援 B 型/就労移行支援）の提供を行う通所型の福祉施設です。平成 26 年度より、9F の他に 6F のフロアも活用し、計 300 m²近い広いスペースを有する福祉施設となりました。

障害のある方向けの就労訓練及び生活訓練では、名刺加工業務やダイレクトメール発送業務、各種軽作業の委託事業を提供しています。

【災害時の対応・訓練状況等】

防災訓練は毎月必ず 1 度実施し、「自分の身は自分で守る」を合言葉に火災時の避難訓練・地震時の防災訓練を主として実施しています。春には炊き出し訓練を行っています。

また、入居ビルが実施する防災訓練にも参加し、実際に地震や火事にご利用者が自ら適切な対応策をとれる様な環境作りを心掛けています。当事業所独自作成の「防災行動計画」を利用者様にご記入頂き、緊急時に各々が対応しやすいように工夫しています。

住 所	沼津市大手町 1-1-3 9F	メ ー ル	Tinkle-tinkle@cy.tnc.ne.jp
電 話	963-5718	防災無線	無
F A X	963-5718	消 防 団	中央方面隊 第2分団
運営主体	(N) ティンクル	消 防 署	南消防署 934-0119
事業内容	障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスの提供		
職種内容	就労継続支援 B 30名定員 就労移行支援 10名定員		
災害時受 入れ状況	施設のスぺース提供は可。 但し、水分や食料は施設利用者様 3 日分のみとなる為提供は現時点では困難。		
備 蓄 品 20 人分	石油ストーブ (1) 簡易組み立てトイレ (2) 毛布 アルミシート ヘルメット 灯油 なべやかん 防災テント 他		
車両関係	特殊車両⇒車いす 1 台対応ハイエース×1 普通車両⇒軽自動車×1 普通乗用車 (計 5 名定員) ×1 大型乗用車 (8 名定員) ×1		

沼 津 市 ハザード マ ッ プ	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海拔	液状化危険度
	6強	第一小学校	7.4m	8.1m	8.3m	中
	河川の増水	土砂災害の状況		津波避難訓練	津波浸水層 30 cm 時間	
	無	無		外側	無	

【推定津波高】 狩野川河口付近

【海岸・河川堤防高】 あゆみ橋付近

沼 津 市 地 震 津 波 対 策	救護所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
	第一地区センター 963-5088	聖隷沼津病院 952-1000	田沢病院 962-1205	沼津市立病院 924-5100	第一小学校 962-0351

38 きさらぎ

(福祉避難所指定 無)



【交通アクセス】 JR沼津駅から 富士急行根方線 石川バス停下車 徒歩 10分
JR原駅からミューバス 原駅循環 石川バス停下車 徒歩10分

【施設概要】 障害福祉サービス事業・地域生活援助事業

1983年12月にきさらぎ共同作業所として創設され、現在は沼津市の浮島地区（石川）に場所を移し、1999年4月に社会福祉法人共生会きさらぎとして障害を持っている方のサポートを行っています。東名のガードをくぐった少し先にあり、自然が多く静かな場所です。近くには第二東名（ネオパーサ）、興国寺城跡があります。避難所（浮島小学校）は当施設から約800mの場所にあります。

業務内容は就労継続B型事業、就労移行、共同生活援助事業、指定特定・一般相談支援事業、地域活動支援センター事業、相談支援センター事業があり、地域で生活をしている障害を持った方を対象とし、社会性や作業能力を高める事、人として当たり前の生活ができるよう支援しています。

【災害時の対応・訓練状況等】

防災訓練は年2回実施。消防署職員を呼び通所者の避難訓練、消化訓練、情報伝達訓練、スモークハウス、起震車両による地震体験など総合防災訓練を行っています。ぐるーぷほーむでも地域の防災訓練参加や個別にて避難訓練も行っています。防災備品についても水・食材の備蓄や電力不通時に備え簡易発電機を備えています。

通所施設の為、夜間や休日は施設に人員はいません。予測を上回る震災が発生した場合情報伝達に課題があります。ネットや電話が使用できない状況が予想され、ぐるーぷほーむ入居者や1人暮らし世帯の多くが不安な状況に陥ります。震度5強以上では各担当職員は訪問し安否確認を行う事としています。

住 所	沼津市石川 828-3	メ ー ル	kisaragi@po2.across.or.jp
電 話	967-5952	防災無線	無
F A X	967-9652	消 防 団	浮島方面隊 35分団
運営主体	(福) 共生会	消 防 署	原分遣所 967-0119
事業内容	就労継続B型 定員 30名 ・ 就労移行 定員 10名 地域活動支援センター 登録 ・ 共同生活サポートセンター 定員 26名		
職種内容	職業指導員 ・ 生活支援員 相談支援専門員		
災害時受 入れ状況	事業所は通常、通所型の事業所の為、夜間の宿泊等の想定が十分されていない事が課題		
備 蓄 品	レトルト食品 50食×5日分 小型発電機 1台 ・ 飲料水 500ℓ		
車両関係	特殊車両⇒マイクロバス 1台、トラック 2台 普通車両⇒8名乗 3台 5人乗 3台・軽自動車 2台		

沼 津 市 ハザード マ ッ プ	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海拔	液状化危険度
	6弱	浮島小学校	3.6m	17m	25m	無
	河川の増水		土砂災害の状況	津波避難訓練	津波浸水層 30cm 時間	
	浸水深 1~2m区域		無	外側	無	

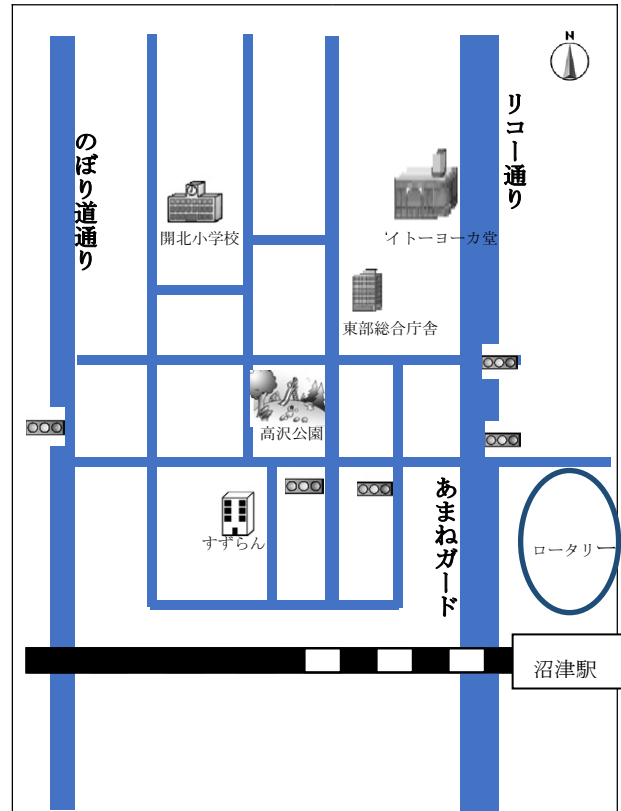
【海岸・河川堤防高】原海岸を記入、原海岸より3km離れている

【河川の増水】大雨の時、国1バイパスと根方街道の南北の道路は水没し通行できない

沼 津 市 地 震 津 波 対 策	救護所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
	浮島地区センター 868-1322	沼津市立病院 924-5100	沼津西病院 966-1181	沼津市立病院 924-5100	浮島中学校 966-2040

39 すずらん

(福祉避難所指定 無)



【交通アクセス】 JR沼津駅より富士急行1番線市立病院・西沢田経由 東高沢町バス停下車徒歩1分

【施設概要】 障害福祉サービス事業

2002年4月社会福祉法人共生会 すずらんとして小規模通所授産施設を開所。障害を持っている方のサポートを行なっています、近くには高沢公園があります。避難場所は開北小で当事業所から500mの場所にあります。

業務内容は就労継続A型・B型事業を行なって、地域で生活をしている障害を持った方を対象とし社会性や作業能力を高めること、必要とされる実感を味わい人として当たり前の生活が出来るよう支援しています。

【災害時の対応・訓練状況等】

防災訓練は年2回実施、通所者の避難訓練・消化訓練・情報伝達訓練を行っています。防災備品については水・食材の備蓄・救急セットを備えています。通所施設のため夜間や休日は施設に人はいません。予想を上回る震災が発生した場合は、情報伝達に不安があります。ネットや電話が使用できない状況では不安が解消されず家族への連絡方法などが一番の課題でもあります。

住 所	沼津市高沢町 4-39	メ ー ル	Satellite-k@po3.across.or.jp
電 話	929-9656	防災無線	無
F A X	929-9657	消 防 団	中央方面隊 1分団
運営主体	(福) 共生会	消 防 署	北消防署 923-0119
事業内容	就労継続支援B型 定員20名 就労継続支援A型 定員20名		
職種内容	職業指導員・生活支援員		
災害時受入れ状況	事業所は通常通所型の事業所の為、夜間の宿泊等の想定が充分されていないのが課題。		
備 蓄 品	飲み水 100ℓ・レトルト食品 200食		
車両関係	普通車両⇒軽自動車3台		

沼 津 市 ハザード マ ッ プ	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海拔	液状化危険度
	6強	開北小学校	無	無	8.6m	無
	河川の増水		土砂災害の状況	津波避難訓練	津波浸水層 30 cm 時間	
	浸水深 1~2m区域		無	外側	無	

【海岸・河川堤防高】 海岸は千本浜海岸

【河川の増水】大雨のときは、三つ目ガード・あまねガード・幟道ガードは冠水し通行不可

新中川（囚人掘川）洪水ハザードマップによると施設西側が浸水深 1~2m区域

沼 津 市	救護所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
地 震 津 波 対 策	第五地区センター 925-8686	聖隷沼津病院 952-1000	沼津整形病院 921-3791	沼津市立病院 924-5100	開北小学校 921-4041

40 地域活動支援センターきさらぎ



【交通アクセス】 JR沼津駅から 富士急行根方線 石川バス停下車 徒歩 10分
JR原駅からミューバス 原駅循環 石川バス停下車 徒歩10分

【施設概要】 障害福祉サービス事業・地域生活援助事業

1983年12月にきさらぎ共同作業所として創設され、現在は沼津市の浮島地区（石川）に場所を移し、1999年4月に社会福祉法人共生会きさらぎとして障害を持っている方のサポートを行っています。東名のガードをくぐった少し先にあり、自然が多く静かな場所です。近くには第二東名（ネオパーサ）、興国寺城跡があります。避難所（浮島小学校）は当施設から約800mの場所にあります。

業務内容は地域活動支援センター事業として、地域で生活をしている障害を持った方を対象とし、社会性や作業能力を高める事、人として当たり前のような生活ができるよう支援しています。また、所内での室内ゲームやお菓子作りを行い楽しく安心して過ごせる空間を提供しています。

【災害時の対応・訓練状況等】

防災訓練は年2回実施。消防署職員を呼び通所者の避難訓練、消化訓練、情報伝達訓練、スモークハウス、起震車両による地震体験など総合防災訓練を行っています。防災備品についても水・食材の備蓄や電力不通時に備え簡易発電機を備えています。

通所施設の為、夜間や休日は施設に人員はいません。予測を上回る震災が発生した場合情報伝達に課題があります。ネットや電話が使用できない状況が予想され、ぐるーぷほーむ入居者や1人暮らし世帯の多くが不安な状況に陥ります。震度5強以上では各担当職員は訪問し安否確認を行う事としています。

住 所	沼津市石川 828-3	メ ー ル	kisaragi@po2.across.or.jp
電 話	967-5952	防災無線	無
F A X	967-9657	消 防 団	浮島方面隊 35分団
運営主体	(福) 共生会	消 防 署	原分遣所 967-0119
事業内容	地域活動支援センター		
職種内容	地域活動支援センター職員		
災害時受 入れ状況	事業所は通常、通所型の事業所の為、夜間の宿泊等の想定が十分されていない事が課題		
備 蓄 品	レトルト食品 50食×5日分 小型発電機 1台 ・ 飲料水 500ℓ		
車両関係	特殊車両⇒マイクロバス 1台、トラック 2台 普通車両⇒8名乗 3台 5人乗 3台・軽自動車 2台		

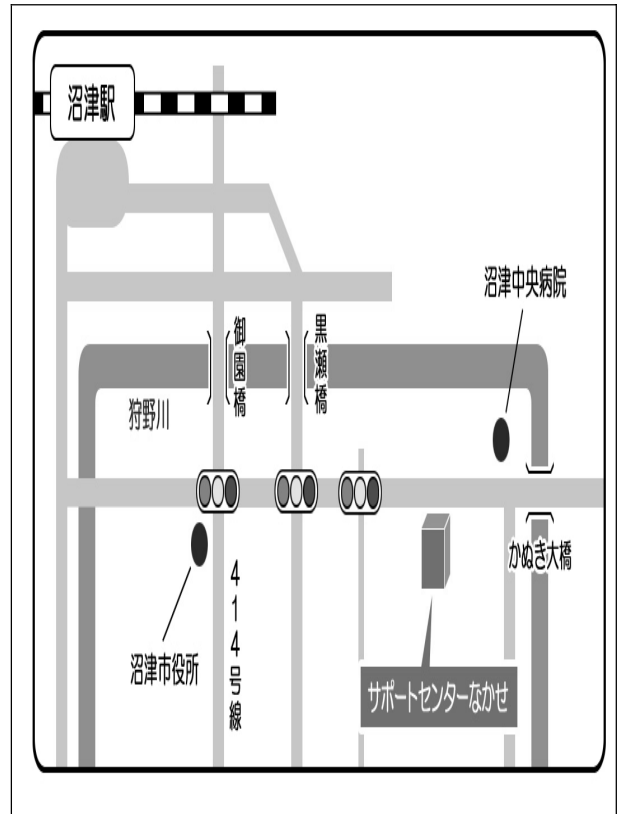
沼 津 市 ハザード マ ッ プ	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海抜	液化化危険度
	6弱	浮島小学校	3.6m	17m	25m	無
	河川の増水	土砂災害の状況	津波避難訓練	津波浸水層 30cm 時間		
	浸水深 1~2m区域	無	外側	無		

【海岸・河川堤防高】原海岸を記入、原海岸より3km離れている

【河川の増水】大雨の時、国1バイパスと根方街道の南北の道路は水没し通行できない

沼 津 市 地 震 津 波 対 策	救護所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
	浮島地区センター	沼津市立病院	沼津西病院	沼津市立病院	浮島中学校
	868-1322	924-5100	966-1181	924-5100	966-2040

41 サポートセンターなかせ



【交通アクセス】 JR沼津駅より沼津登山東海バス（大平・徳倉方面）中瀬バス停 徒歩3分

【施設概要】 障害者地域活動支援センター・相談支援事業所

サポートセンターなかせは、沼津市中瀬町の沼津市役所から香貫大橋に向かう道路沿いに位置し、建物は1階がなかせ、2階3階がはまゆう寮（グループホーム）となっています。近隣には同法人の喫茶花のん（就労継続支援B型）、コーポ狩野（グループホーム）があり、主には精神障害のある方々の支援を行っています。

業務内容は障害のある方の日中の居場所の提供や電話や来所・訪問等の相談支援を行っています。

【災害時の対応・訓練状況等】

防災訓練は年2回実施し、火災を想定した避難及び消火通報訓練、地震と津波を想定した避難訓練を行っています。また、なかせは土砂災害警戒区域にあるため、とにかく安全な場所へ早く全員が避難できるように訓練にも工夫が必要と感じています。

災害時の参集計画として、震度5強以上の場合には各職員が安否情報を報告し、直近にあるグループホームへ向かう事としています。

住 所	沼津市中瀬町17-11	メ ー ル	cent-nakase@fukkou-kai.jp
電 話	935-5680	防災無線	無
F A X	935-6150	消 防 団	香貫方面隊 3分団
運営主体	(公財)復康会	消 防 署	南消防署 934-0119
事業内容	障害者地域活動支援センター（障害のある方々の日中の活動場所の提供や生活支援） 相談支援事業（指定特定相談・指定一般相談）障害のある方々の相談支援・障害福祉サービス利用時のサービス等利用計画作成等。		
職種内容	精神保健福祉士・相談支援専門員・相談員・指導員 職員合計 7名		
災害時受入れ状況	当事業所の場所が土砂災害警戒区域に指定されているため受け入れは困難であり、グループホームの利用者については、避難場所へ避難する事となっています。		
備 蓄 品 10人分	飲み水（2ℓ×15本） 緊急持ち出し袋		
車両関係	普通車両⇒2台		

沼 津 市 ハザード マ ッ プ	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海拔	液化化危険度
	6弱	第四小学校	7.4m	7.2m	8m	小
	河川の増水		土砂災害の状況	津波避難訓練	津波浸水層 30 cm 時間	
	河川浸水深0.5m未満		特別警戒区域	外側	無	

【海岸・河川堤防高】永代橋付近

【推定津波高】 狩野川河口付近

沼 津 市 地 震 津 波 対 策	救護所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
	市民文化センター 932-6111	沼津聖隷病院 931-4100	香貫医院 931-2465	静岡医療センター 975-2000	第四中学校 931-1554

42 ワークステーションあゆみ橋



【交通アクセス】 JR沼津駅南口方面下車 徒歩 10分

【施設概要】 就労継続支援B型事業所

ワークステーションあゆみ橋では、通常の事業所に雇用されるのが困難な障がいのある方に対して生産活動などの機会を提供し、知識及び能力の向上のために必要な就労訓練等のサービスを提供しています。作業内容としてはレストラン業務、内職作業、自主製品等を行っています。

仕事とは楽しいことばかりではありません。ノルマや人間関係など、負担になることも多いものです。ですが、その半面で社会参加の充実感や自分の力でお金を得ることの喜び、なにより仕事へのやりがいなどは就労をしなければ得られないものです。我々は利用者様が仕事への充実感を持ち、社会復帰への意欲を高めながらステップアップできる場所でありたいと心がけ、支援を行っております。

開所日 : 月曜日～金曜日（祝日・年末年始除く）

利用時間：AM9：00～PM4：00

【災害時の対応・訓練状況等】

災害に対処する技能習得のため防災訓練を実施している。訓練は通報、消火、避難を柱としてその都度計画。年に2回防災訓練を実施。訓練には消防用設備の操作、取扱いも含まれる。防災訓練の実施等にあっては、消防機関と事前の連絡を密にし、必要に応じて指導を受けている。

当施設の避難集合場所は、中央公園（第一避難所）、沼津第一小学校グラウンド（第二避難所）となっている。

住 所	沼津市大手町4丁目-3-35	メ ー ル	ayumi-work@fureai.g.or.jp
電 話	954-2730	防災無線	無
F A X	954-2731	消 防 団	中央方面隊 2分団
運営主体	(医) 社団 静岡康心会	消 防 署	南消防署 934-0119
事業内容	就労継続支援B型		
職種内容	サービス管理責任者・管理栄養士・調理員・事務員 職員合計 6人		
災害時受入れ状況	通所施設の為、避難者の受け入れについては、一時的には可能だが長期での受け入れは困難。また、近くに狩野川があり、地震による津波被害や台風時の河川の氾濫等が予測される為、災害時の規模により受入困難。		
備 蓄 品	飲み水・非常持ち出し袋（医療品等）		
車両関係	施設全体で数台車両があるが、専用車両は無い		

沼 津 市 ハザード マ ッ プ	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海拔	液状化危険度
	6弱	第一小学校	7.4m	7.8m	4.3m	無
	河川の増水	土砂災害の状況	津波避難訓練	津波浸水層 30 cm 時間		
	河川浸水深1~2m	無	外側	無		

【海岸・河川堤防高】 あゆみ橋付近、狩野川より約50m離れている

【推定津波高】 狩野川河口付近

【津波避難訓練】 道路の反対側は津波訓練内側になっている

沼 津 市 地 震 津 波 対 策	救護所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
	第一地区センター 963-5088	聖隷沼津病院 952-1000	田沢病院 962-1205	沼津市立病院 924-5100	第一小学校 962-0351

43 地域生活支援センター あゆみ橋



【交通アクセス】 JR沼津駅南口方面下車 徒歩 10分

【施設概要】 地域活動支援センター I 型・指定相談支援事業所

地域生活支援センターでは、地域活動支援センター I 型事業として、日中の居場所の提供や、地域で生活している方との交流の場、社会参加の機会を提供しています。また指定相談支援事業では、障がいや病気に関すること、家族・友人などの対人関係に関すること、日中の過ごし方に関することなど、日々の生活の中で感じている不安や心配事について、専門のスタッフがお話しを伺い、必要に応じて福祉サービスの利用に向けたお手伝いや、情報提供を行っています。

開所日 : 月曜日～土曜日(祝日・年末年始除く)

利用時間 : AM8:30～PM5:00

【災害時の対応・訓練状況等】

災害に対処する技能習得のため防災訓練を実施している。訓練は通報、消火、避難を柱としてその都度計画。年に2回防災訓練を実施。訓練には消防用設備の操作、取扱いも含まれる。防災訓練の実施等にあっては、消防機関と事前の連絡を密にし、必要に応じて指導を受けている。

当施設の避難集合場所は、中央公園(第一避難所)、沼津第一小学校グラウンド(第二避難所)となっている。

住 所	沼津市大手町4丁目-3-35	メ ー ル	ayumi-tiiki@fureai.g.or.jp
電 話	954-2735	防災無線	無
F A X	954-2736	消 防 団	中央方面隊 2分団
運営主体	(医) 社団 静岡康心会	消 防 署	南消防署 934-0119
事業内容	地域活動支援センター I 型事業・指定相談支援事業・指定計画相談支援事業・地域移行支援事業		
職種内容	臨床心理士・精神保健福祉士・事務員 (職員合計 5人)		
災害時受入れ状況	通所施設の為、避難者の受け入れについては、一時的には可能だが長期での受け入れは困難。また、近くに狩野川があり、地震による津波被害や台風時の河川の氾濫等が予測される為、災害時の規模により受入困難。		
備 蓄 品	飲み水 (72ℓ)・非常持ち出し袋 (医療品等)		
車両関係	施設全体で数台車両があるが、専用車両は無い		

沼津市 ハザード マップ	想定震度	避難所	推定津波高	海岸・河川 堤防高	海拔	液状化危険度
	6弱	第一小学校	該当なし	8.7m	4.3m	無
	河川の増水	土砂災害の状況	津波避難訓練	津波浸水層 30 cm 時間		
	河川浸水深1~2m	無	外側	無		

【海岸・河川堤防高】 あゆみ橋付近、狩野川より約 50m 離れている

【推定津波高】 狩野川河口付近

【津波避難訓練】 道路の反対側は津波訓練内側になっている

沼津市 地震津 波対策	救護所	救護病院	準救護病院	災害拠点病院	防災ヘリポート
	第一地区センター 963-5088	聖隷沼津病院 952-1000	田沢病院 962-1205	沼津市立病院 924-5100	第一小学校 962-0351

編集後記

沼津市福祉施設防災・災害状況マップの作製に当たり、会員の皆さまご協力ありがとうございました。多くの方からご意見をいただき完成の運びとなりましたことをご報告申し上げます。なお、次のところから補助金等いただきました。

作成に当たり規模の大きい施設、職員数が3人程度の小規模な施設とあり、大規模な災害が起きた場合は施設間の協力が必要と思われます。静岡県下でも老人から児童までが含まれている沼津市福祉施設連絡協議会のような組織はまだ珍しく、今以上に会の「絆」を大切に協力し合うことが必要だと今一度考えさせられました。

静岡県社会福祉協議会（社会福祉事業振興のための助成金）

沼津市社会福祉協議会（赤い羽根共同募金配分金）

沼津市福祉施設連絡協議会各会員（マップ作成費負担金）

作成担当者	みはるの丘浮島	山下 勇
作成協力者	あまぎ学園	石井 昌明
	地域生活支援センターあゆみ橋	神尾 高明

発行日 平成27年11月 1日

発行責任者 沼津市福祉施設連絡協議会
会長 石川 三義

事務局
沼津市社会福祉協議会
沼津市日の出町1-15
☎(055) 922-1500

印刷所 いさぶや印刷工業株式会社